8B-2 no.75

年少労働調査資料第65集

夜間に就学する勤労青少年の生活と意識に関する調査結果

昭和50年8月

労働省婦人少年局

はしがき

定時制（夜間）高等学校及び夜間短期大学・大学に学ぶ学生数は，それぞれ，高等学校生徒が約27万人，短期大学・大学学生が約17万人であるが，その多くは，職業に従事している青少年である。

そこで，夜間に就学する勤労青少年の学業と職業の両立の状況及び余暇生活の実態を明らかにし，これらの勤労青少年に対する福祉施策の基礎資料にするために本調査を実施したものである。

この報告書が勤労青少年問題に関心をもつ方々の参考になれば幸いである。

おわりに，調査実施にあたって多大の御協力をいただいた関係者の方々に深く感謝の意を表する次第である。

昭和50年 8 月

労働省婦人少年局

目　　次

はしがき

Ⅰ　調査の概要 …… 1

Ⅱ　夜間に就学する勤労青少年の生活と意識（調査結果）…… 2

1.　調査対象校の構成 …… 2

2.　調査対象勤労青少年の構成 …… 2

3.　勤労青少年の就業の状況 …… 4

(1)　勤務する事業所の産業，規模 …… 4

(2)　職種 …… 5

(3)　雇用形態 …… 6

4.　勤労青少年の生活環境及び生活時間 …… 6

(1)　居住形態 …… 6

(2)　夕食の状況 …… 7

(3)　生活時間 …… 9

イ．職場にいる時間 …… 9

ロ．学校にいる時間 …… 10

ハ．通勤・通学時間 …… 10

ニ．帰宅時刻 …… 11

ホ．就寝時刻 …… 13

ヘ．睡眠時間 …… 14

ト．余暇時間 …… 15

5.　職業と学業の両立の状況 …… 18

(1)　通学に対する事業所の時間配慮の有無 …… 18

(2)　事業所の休日と授業の関係 …… 20

イ．学校と職場の休日の一致状況 …… 20
ロ．職場の週休二日制実施状況 …… 23
ハ．週休二日制と通学の状況 …… 24
(3) 学校の行事等への参加方法 …… 25
(4) 仕事の学業への影響 …… 33
イ．学校の欠席等の状況 …… 33
ロ．仕事の都合により進級できなかったことの有無 …… 37
(5) 通学に関連のある転職 …… 37
(6) 学業継続の意志 …… 39
(7) 学校卒業資格の取扱 …… 39
(8) 職業継続の意志 …… 41
(9) 高校生の進学希望 …… 42
6. 勤労青少年の余暇生活 …… 47
(1) 余暇の活用状況 …… 47
(2) 余暇をすごした場所 …… 49
(3) 週休二日制になったら余暇にしたいこと …… 50
(4) 施設の利用状況 …… 56
イ．余暇に利用した施設 …… 56
ロ．余暇に利用できなかった施設とその理由 …… 57
(5) 身近にほしい施設 …… 58

(付　表)

付表1. 産業，時間配慮の有無別勤労青少年の構成 …… 67
付表2. 産業，終業時刻が早い場合の短縮時間及び給料への影響別勤労青少年の構成 …… 69

付表 3. 雇用形態，通勤・通学時間別，週休二日制になってからの通勤状況別勤労青少年の構成 ……71
付表 4. 雇用形態，週休二日制実施の有無，欠席日数別勤労青少年の構成 ……73
付表 5. 事業所規模，雇用形態，修学旅行の参加方法別勤労青少年の構成 ……75
付表 6. 事業所規模，雇用形態，遠足への参加方法別勤労青少年の構成 ……77
付表 7. 事業所規模，雇用形態，運動会への参加方法別勤労青少年の構成 ……79
付表 8. 事業所規模，雇用形態，文化祭への参加方法別勤労青少年の構成 ……81
付表 9. 事業所規模，雇用形態，試験，考査への参加方法別勤労青少年の構成 ……83
付表10. 事業所規模，雇用形態，実習への参加方法別勤労青少年の構成 ……85
付表11. 職種，学校卒業資格の取扱別勤労青少年の構成 ……87
付表12. 職種，雇用形態，現在の仕事の継続意志別勤労青少年の構成 ……89
付表13. 平日の余暇時間別，平日の余暇活用状況 ……91
付表14. 週休二日制の実施状況，学校と職場の休日の一致状況，休日の余暇時間，休日の余暇活動別勤労青少年の構成 ……93
付表15. 居住状態，平日の余暇時間別，平日の余暇をすごした場所 ……95
付表16. 週休二日制の実施状況，休日の一致状況，休日の余暇時間，休日の余暇をすごした場所別勤労青少年の構成 ……97

付表17. 週休二日制の実施状況，休日の一致状況，休日の余暇時間，
週休二日制が実施後の余暇活動希望別勤労青少年の構成……99

（参　考）

調　査　票

I　調査の概要

1　調査の目的

この調査は，夜間に就学する勤労青少年の学業と職業との両立の状況，余暇生活の実態などをは握し，これらの勤労青少年に関する福祉施策の基礎資料とする。

2　調査の範囲

(1)　地　域

日本国全域

(2)　対　象

夜間定時制高校８５校及び夜間大学２６校に就学している満２５才未満の青少年であって，事業所等に雇用される者の中から一定の方法によって抽出された3,０２１人（高校生2,５２６人，短大・大学生４９５人）

3　調査事項

(1)　学業と職業との両立の状況

(2)　余暇生活の実態

4　調査の実施期間

昭和４９年１１月１日から１１月３０日まで

5　調査機関

労働省婦人少年局一婦人少年室

6　調査の方法

実地自計の方法による。

Ⅱ　夜間に就学する勤労青少年の生活と意識（調査結果）

1　調査対象校の構成

調査対象となった学校は，高校が８５校，短大が１２校，大学が１４校の計１１１校である。対象となった課程（又は学部・学科）は，高校の場合は，普通・工業・商業の３課程，短大及び大学の場合は，文学関係，法律・経済・政治・商業関係，理学・工学関係の学部学科となっている（第１表）。

第１表　学校の種類別，課程（学部，学科）別調査対象校数

（校）

計	高校				短大				大学			
	小計	普通	工業	商業	小計	文学	法・経商・政	理工	小計	文学	法・経商・政	理工
111	85	53	21	11	12	4	5	3	14	2	8	4

2　調査対象勤労青少年の構成

調査対象となった勤労青少年の構成は，高校生が2,526人，短大生及び大学生は，あわせて495人であって，これを課程（又は学部・学科）別にみると，高校の場合には，普通課程が1,572人で62.2％，工業課程が624で24.7％，商業課程が330人で13.1％であり，短大及び大学の場合は，文学関係の学部・学科が57人で11.5％，法律・経済・政治・商業関係の学部・学科が209人で42.2％，理学・工学関係が126人で25.5％，教育関係が97人で19.6％，その他が 6人で1.2％となっている（第２表）。

第２表　学校区分別，課程（学部，学科）別調査対象勤労青少年数

総数		高校				短大・大学					
		小計	普通	工業	商業	小計	文学	法・経商・政	理工	教育	その他
実数	3,021	2,526	1,572	624	330	495	57	209	126	97	6
構成比	100.0 %	83.6 (100.0)	(62.2)	(24.7)	(13.1)	16.4 (100.0)	(11.5)	(42.2)	(25.5)	(19.6)	(1.2)

調査対象となった勤労青少年の男女別構成は，男子が1,748人で57.9％，女子が1,267人で41.9％である。これを学校区分別にみると，高校生は，男子が1,389人で55.0％，女子が1,131人で44.8％となっており，短大・大学生は，男子が359人で72.5％，女子が136人で27.5％である（第3表）。

また，調査対象勤労青少年の年令は15才以上24才以下であるが，これをさらに細かにみると15～19才の者が71.3％を占め2,154人（男子が1,158人，女子が990人，不明6人），20～24才が28.7％を占め867人（男子が590人，女子が277人）となっている。

第３表　性，学校区分別調査対象勤労青少年数

区分	総数		高校生		短大・大学生	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
総数	3,021人	100.0 %	2,526人	100.0 %	495人	100.0 %
男	1,748	57.9	1,389	55.0	359	72.5
女	1,257	41.9	1,131	44.8	136	27.5
不明	6	0.2	6	0.2	—	—

3　勤労青少年の就業の状況

(1)　勤務する事業所の産業，規模

調査対象者が勤務する事業所の産業は，製造業が最も多く３８.９％，次いで，サービス業，２２.４％，その他１５.７％，卸売．小売業，９.４％，建設業，８.７％などの順となっている。つぎに事業所の規模についてみると，30人未満が多く３９.６％，１００人以上1,０００人未満がこれにつぎ３０.５％，３０人以上１００人未満が１７.９％，1,０００人以上は１０.７％である（第４表）。

第４表　事業所の産業．規模別勤労青少年の構成

（％）

総数		（3,０２１） １００,０
産業	製造業	３８.９
	建設業	８.７
	卸売．小売業	９.４
	金融．保険業	１.９
	運輸通信業	３.０
	サービス業	２２.４
	その他	１５.７
	不明	０.１
規模	３０人未満	３９.６
	３０人以上 １００人未満	１７.９
	１００人以上 1,０００人未満	３０.５
	1,０００人以上	１０.７
	不明	１.３

(2) 従事する職種

勤労青少年が従事している職種は，「工場の現業」が最も多く39.2%，ついで，「事務」18.1%，「サービス職業」8.9%，「販売員」6.5%，「運輸・通信」4.8%の順となっている，性別にみると，男子は特に「工場の現業」が多く45.4%と半数近くを占め，女子は「工場の現業」は30.5%で，男子にくらべるとかなりその割合が低く，一方，「事務」は，26.2%で男子（12.2%）よりもかなりその割合が高い。また，高校生の場合は，「工場の現業」が43.5%で最も多いが，短大・大学生では「事務」が最も多く44.6%である（第5表）。

第5表　性，学校区分，職種別勤労青少年の構成

(%)

区分		総数	事務	販売員	運輸通信	工場の現業	サービス職業	その他	不明
総数		(3,021) 100.0	18.1	6.5	4.8	39.2	8.9	22.4	0.1
性	男	(1,748) 100.0	12.2	7.8	7.8	45.4	6.5	20.2	0.1
	女	(1,267) 100.0	26.2	4.6	0.7	30.5	12.3	25.6	0.1
	不明	(6) 100.0	33.3			66.7			
学校区分	高校	(2,526) 100.0	12.9	6.9	4.7	43.5	9.7	22.2	0.1
	短大・大学	(495) 100.0	44.6	4.4	5.3	17.2	5.1	23.4	

(3) 雇用形態

調査対象者である勤労青少年の雇用形態は，「本採用」が多く84.1%で，「臨時・アルバイトなど」は15.8%である。高校生にくらべると短大・大学生は，「臨時・アルバイトなど」の占める割合がいくぶん多く21.0%となっている。（第6表）

第6表 性，学校区分，雇用形態別勤労青少年の構成

(%)

区分		総数	本採用	臨時・アルバイトなど	不明
総数		(3,021) 100.0	84.1	15.8	0.1
性	男	(1,748) 100.0	82.7	17.3	−
	女	(1,267) 100.0	86.0	13.7	0.3
	不明	(6) 100.0	100.0	−	−
学校区分	高校	(2,526) 100.0	85.1	14.8	0.1
	短大・大学	(495) 100.0	79.0	21.0	−

4 勤労青少年の生活環境及び生活時間

(1) 居住形態

勤労青少年の居住形態は「親といっしょ」の者は41.6%で，「住込・寄宿舎・寮」の者が40.2%，「下宿・アパートなど」が，16.9%となっており，約6割のものが親元を離れて生活している。

性別にみると，男子は「親といっしょ」に住んでいる者が47%で，「住

込．寄宿舎．寮」にいる者が３３.７％となっているが，女子は反対に「住込．寄宿舎．寮」に居住する者が最も多く４９％で，「親といっしょ」の者が３４.２％となっており，男子と女子とでは居住形態に相異がみられる。

学校区分別にみると，高校生は「親といっしょ」（４２.９％），「住込．寄宿舎．寮」（４２.１％）が多く両者で８５％を占めているが，短大．大学生は「親といっしょ」（３５％），「下宿．アパートなど」（３３.３％）「住込・寄宿舎・寮」（３０.８％）と別かれており，高校生と短大・大学生とは異った傾向がみられる（第７表）。

第７表　性，学校区分，居住形態別勤労青少年の構成

（％）

区分		計	親といっしょ	住込・寄宿舎・寮	下宿・アパートなど	その他
計		(3,021) 100.0	41.6	40.2	16.9	1.3
性	男	(1,748) 100.0	47.0	33.7	17.8	1.5
	女	(1,267) 100.0	34.2	49.0	15.8	1.0
	不明	(6) 100.0	33.3	66.7	—	—
学校区分	高校	(2,526) 100.0	42.9	42.1	13.7	1.3
	短大・大学	(495) 100.0	35.0	30.3	33.3	1.4

(2)　夕食の状況

学校に「給食あり」の者は８４.９％「給食なし」の者は１５.０％である。高校生の９９.０％が「給食あり」と答えているのに対し，短大．大学生は８６.５％が「給食なし」と答えており，高校と大学ではいちじるしく異っている（第８表）。

第8表　学校区分，給食の有無別勤労青少年の構成

(%)

区　　分	総　　数	給食あり	給食なし	不　　明
総　　数	(3,021) 100.0	84.9	15.0	0.1
高　　校	(2,526) 100.0	99.0	1.0	—
短大・大学	(495) 100.0	13.1	86.5	0.4

ところで，「給食あり」と答えた者について，給食以外に夕食をとっているかかどうか質問したところ，74.8%の者が給食以外に夕食をとっていると答えている。その時間をみると，21時以後23時まえという者が多く35.6%「23時以後」の6.0%を加えると，半数近くが学校終了後に夕食をとっていることになる。また，給食以外の夕食の時間は，「不規則で何とも言えない」と答えている者が25.1%おり，夕食の時間帯がおそく，あるいは不規則な者が多いことが注目される（第9表）。

第9表　給食以外の夕食の有無，夕食の時間別勤労青少年の構成

給食あり＝100%　(%)

区分	総数	給食以外の夕食をとっている						とっていない	不明
			21時まえ	21時以後23時まえ	23時以後	不規則で何ともいえない	不明		
総数	(2,566) 100.0	74.8	7.6	35.6	6.0	25.1	0.4	25.0	0.2

注）給食以外の夕食とは，給食＋他の夕食をとった者及び他の夕食のみの者の計

(3) 生活時間

イ 職場にいる時間

就学している勤労青少年が1日のうち，職場にいる時間（勤務時間＋休憩時間）は，「8時間以上」という者が最も多く86.8％で，ついで「6時間以上8時間未満」の11.6％「4時間以上6時間未満」が1.0％等となっており，職場における平均拘束時間は8時間24分である。職場における平均拘束時間を，職種別にみると，8時間～8時間35分の間に分布しているが，「工場の現業」の8時間34分が最も長く，「販売員」の8時間2分が最も短い。また，高校生と短大・大学生と比較すると高校生のほうが職場における平均拘束時間が長く8時間26分であるが，短大・大学生が8時間10分となっている（第10表）。

第10表　職種，学校区分，職場拘束時間別勤労青少年の構成

区分		総数	職場拘束時間					平均職場拘束時間
			4時間未満	4時間以上6時間未満	6時間以上8時間未満	8時間以上	不明	
総数		(3,021) 100.0	0.3	1.0	11.6	86.8	0.3	8時間24分
職種	事務	(548) 100.0	0.4	0.7	16.4	82.1	0.4	8時間16分
	販売員	(196) 100.0	1.5	2.6	21.9	73.0	1.0	8時間 2分
	運輸・通信	(145) 100.0	2.1	0.7	15.2	82.0	－	8時間 9分
	工場の現業	(1,184) 100.0	－	0.2	6.1	93.7	－	8時間34分
	サービス職業	(269) 100.0	－	3.4	16.7	79.2	0.7	8時間13分
	その他	(677) 100.0	0.1	1.5	11.4	86.4	0.6	8時間25分
	不明	(2) 100.0	－	－	50.0	50.0	－	7時間15分
学校区分	高校	(2,526) 100.0	0.2	0.9	9.8	88.8	0.3	8時間26分
	短大・大学	(495) 100.0	0.8	1.6	20.6	76.4	0.6	8時間10分

ロ　学校にいる時間

勤労青少年が，夜間に学校にいる時間は，「2時間以上4時間未満が多く86％で，「4時間以上」は13.9％となっている。高校生にくらべると，短大・大学生は「4時間以上」学校にいる者の割合が高いが，平均学校拘束時間は短大・大学生は3時間25分，高校生は3時間30分となっている。（第11表）

第11　学校区分，学校拘束時間別勤労青少年の構成

（％）

区　分	総　数	学校にいる時間			平均学校拘束時間
		2時間以上4時間未満	4時間以上	不　明	
総　数	(3,021) 100.0	86.0	13.9	0.1	3時間30分
高　校	(2,526) 100.0	88.4	11.5	0.1	3時間30分
短大・大学	(495) 100.0	73.9	25.7	0.4	3時間25分

ハ　通勤・通学時間

調査対象となった勤労青少年に，「どこへも寄り道をしない場合，通勤・通学にどのくらい時間がかかりますか」との質問をしたところ，「1時間未満」と答えた者が39.4％「1時間以上1時間半未満」が29.3％，「1時間半以上」が31.1％となっており，平均通勤通学時間は1時間15分である。

通勤・通学時間について，高校生と短大・大学生を比較してみると，高校生は「1時間未満」の者が43.8％で最も多いのに対し，短大・大学生は「1時間半以上」が最も多く62.4％を占めている。また，平均通勤・通学時間でみると，高校生が1時間7分であるが，短大・大学生は1時間

５２分で，短大・大学生に通勤・通学時間が長い者のが多くなっている。

ついで，居住状態別にみると，「親といっしょ」に住んでいる者に，通勤・通学時間が長い者が多く，平均通勤・通学時間は１時間２７分で，「「下宿・アパートなど」・（１時間１６分）がこれにつぎ，「住込・寄宿舎・寮」に居住する者は１時間２分で，通勤・通学時間が最も短い。

性別では，男子のほうが，女子よりもいくぶん通勤・通学時間の長い者のが多い（第１２表）。

第１２表　学校区分，居住状態，通勤・通学時間別勤労青少年の構成

（％）

区分		総数	通勤・通学時間				平均通勤通学時間
			１時間未満	１時間以上１時間半未満	１時間半以上	不明	
総数		(3,021) 100.0	39.4	29.3	31.1	0.2	1時間15分
学校区分	高校	(2,526) 100.0	43.8	31.0	25.0	0.2	1時間 7分
	短大・大学	(495) 100.0	17.0	20.6	62.4		1時間52分
居住状態	親といっしょ	(1,256) 100.0	29.3	29.1	41.5	0.1	1時間27分
	住込・寄宿舎・寮	(1,214) 100.1	51.2	29.0	19.5	0.3	1時間 2分
	下宿・アパートなど	(512) 100.0	36.5	29.9	33.6	—	1時間16分
	その他	(39) 100.0	35.9	35.9	28.2	—	1時間18分
性	男	(1,748) 100.0	38.2	28.4	33.2	0.2	1時間18分
	女	(1,261) 100.0	41.0	30.4	28.5	0.1	1時間10分

ニ　帰宅時刻

学業をおえて，家に帰る時刻をみると，「２１時以後２２時前」が最も多く，５９.２％，次が「２２時以後２４時前」で３５.３％で，「２１時前」

が0.4％，「24時以後」が0.6％となつている。

家に帰る時刻を性別にみると，平均帰宅時刻は男子21時41分，女子21時39分であり，ほとんど差がないが，22時まえに帰宅する者は女子に多い（女子65.9％，男子61.2％）。

高校生と短大・大学生とくらべると，高校生は家に帰る時刻が22時前の者が多い。

居住状態別にみると，「住込・寄宿舎・寮」にいる者は帰宅時刻が早い者が多く，平均帰宅時刻21時37分で，つぎが「親といっしょ」の者で平均帰宅時刻は21時41分，「下宿・アパートなど」に住んでいる者が最も家に帰る時刻がおそく，平均帰宅時刻は21時44分である（第13表）。

第13表　性，学校区分，帰宅時刻別勤労青少年の構成

（％）

区分		総数	帰宅時刻					平均帰宅時刻
			21時前	21時以後22時前	22時以後24時前	24時以後	不明	
総数		(3,021) 100.0	4.0	59.2	35.3	0.6	0.9	21時40分
性	男	(1,748) 100.0	4.4	56.8	36.9	0.9	1.0	21時41分
	女	(1,267) 100.0	3.4	62.5	33.1	0.2	0.8	21時39分
	不明	(6) 100.0	—	83.3	16.7	—	—	21時45分
学校区分	高校	(2,526) 100.0	3.2	62.5	33.3	0.3	0.7	21時38分
	短大・大学	(495) 100.0	7.9	42.6	45.5	2.2	1.8	21時49分
居住状態	親といっしょ	(1,256) 100.0	3.5	55.7	39.5	0.8	0.5	21時41分
	住込・寄宿舎・寮	(1,214) 100.0	3.8	65.8	29.1	0.1	1.2	21時37分
	下宿・アパートなど	(512) 100.0	5.7	52.5	39.4	1.6	0.8	21時44分
	その他	(39) 100.0	2.6	56.4	35.9	—	5.1	21時42分

ホ　就寝時刻

夜間に就学するために就寝時刻のおそい者が多く，「２４時以後１時前」に就寝しているものが４２.６％，つぎが「２２時以後２４時前」で４１.４％，「１時以後」という者が１５.６％となっており，平均就寝時刻は２３時５５分である。就寝時刻は学業をおえて帰宅する時刻と，関連があるとみられるが，約６割の者が２４時以後の就寝となっている。

２４時以後に就寝する者の割合は男子は５４.８％であるが，女子は63.1％と高い。また，高校生は２４時以後就寝する者は５４.７％に対し，短大大学生は７６.８％を占めている。居住状態別には，下宿，アパートなどに居住している者が最も就寝時刻が遅く，約７割が２４時以後の就寝となっている。（第１４表）

第１４表　性，学校区分，居住状態，就寝時刻別勤労青少年の構成

（％）

区分		総数	就寝時刻					平均就寝時刻
			22時前	22時以後24時前	24時以後1時前	1時以後	不明	
総数		(3,021) 100.0	0.1	41.4	42.6	15.6	0.3	23時55分
性	男	(1,748) 100.0	0.1	44.9	39.9	14.9	0.2	23時51分
	女	(1,267) 100.0	0.1	36.4	46.3	16.8	0.4	24時00分
	不明	(6) 100.0	—	50.0	50.0	—	—	23時40分
学校区分	高校	(2,526) 100.0	0.1	45.1	42.2	12.5	0.1	23時50分
	短大・大学	(495) 100.0	—	22.2	44.9	31.9	1.0	24時18分
居住状態	親といっしょ	(1,256) 100.0	—	47.2	40.2	12.3	0.3	23時48分
	住込・寄宿舎・寮	(1,214) 100.0	0.1	41.4	42.7	15.7	0.1	23時55分
	下宿・アパートなど	(512) 100.0	0.4	27.3	48.3	23.8	0.2	24時10分
	その他	(39) 100.0	—	35.9	41.0	18.0	5.1	23時56分

ヘ　睡眠時間

睡眠時間は「6時間以上8時間未満」が最も多く68.2%で，つぎが「8時間以上」23.9%となっており，「6時間未満」の者も7.6%みられ，平均睡眠時間は7時間9分である。睡眠時間が8時間未満の者は，性別にみると女子に多い（男子69.7%，女子84.3%）。また，高校生よりも短大・大学生に睡眠時間が8時間未満の者が多い。居住状態でみると，8時間未満の睡眠時間の者は，「下宿・アパートなど」に多く81.5%を占めており，「住込・寄宿舎・寮」がこれにつぎ77.4%，「親といっしょ」の者が72.1%となっている（第15表）。

第15表　性，学校区分，居住状態，睡眠時間別勤労青少年数

（%）

区分		総数	睡眠時間				平均睡眠時間
			6時間未満	6時間以上8時間未満	8時間以上	不明	
総数		(3,021) 100.0	7.6	68.2	23.9	0.3	7時間 9分
性	男	(1,748) 100.0	6.1	63.6	30.2	0.1	7時間19分
	女	(1,267) 100.0	9.7	74.6	15.2	0.5	6時間58分
	不明	(6) 100.0	—	66.7	33.3	—	7時間25分
学校区分	高校	(2,526) 100.0	5.9	68.1	25.8	0.2	7時間14分
	短大・大学	(495) 100.0	16.2	68.9	14.3	0.6	6時間43分
居住状態	親といっしょ	(1,256) 100.0	6.0	66.1	27.6	0.3	7時間17分
	住込・寄宿舎・寮	(1,214) 100.0	8.4	69.0	22.4	0.2	7時間 4分
	下宿・アパートなど	(512) 100.0	9.2	72.3	18.3	0.2	7時間00分
	その他	(39) 100.0	12.8	61.5	25.7	—	6時間50分

すでに述べたとおり，この調査の対象となった勤労青少年の平均睡眠時間は7時間9分（第15表）であるが，参考までに，総理府統計局「労働力調査特別調査報告」(昭和48年10月）における，同年代の青少年の睡眠時間をみると，「有業者」の睡眠時間は，15～19才が8時間00分，20～29才が，8時間05分となっており，働きながら夜間に就学する勤労青少年の睡眠時間が著るしく短かくなっているといえる（参考表－1）。

〔参考表－1〕　青少年の有業・無業別睡眠時間

（時間．分）

区分		計	有業者	無業者（通学・家事）
計	15～19才	7.56	8.00	7.54
	20～29才	8.03	8.05	8.00
男	15～19才	8.01	8.17	7.57
	20～29才	8.14	8.13	8.21
女	15～20才	7.50	7.47	7.51
	20～29才	7.53	7.53	7.53

総理府「労働力調査特別調査報告」（昭和48年10月）

ト　余暇時間

平日に本人が自由に使える余暇時間をみると，「3時間未満」が70.5％で最も多く，「3時間以上6時間未満」が26.5％，「6時間以上」が2.0％となっており，平均余暇時間は2時間11分である。

昼は働き，夜は就学している勤労青少年であるから平日の余暇時間は性

別にみても学校区分別にみても，大きな開きはみられない。高校生と短大・大学生とくらべると，余暇時間の長いものは短大・大学生にいくぶん多い（第１６表）。

第１６表　性，学校区分，平日の余暇時間別勤労青少年の構成

（％）

区分		総数	3時間未満	3時間以上6時間未満	6時間以上	不明	平均余暇時間
総数		(3,021) 100.0	70.5	26.5	2.0	1.0	2時間11分
性	男	(1,748) 100.0	70.9	26.5	1.6	1.0	2時間 9分
	女	(1,267) 100.0	69.8	26.8	2.4	1.0	2時間14分
	不明	(6) 100.0	66.6	—	16.7	16.7	3時間19分
学校区分	高校	(2,526) 100.0	71.3	25.8	1.9	1.0	2時間10分
	短大・大学	(495) 100.0	66.1	30.1	2.6	1.2	2時間15分

参考までに前掲の総理府統計局「労働力調査特別調査報告」（昭和４８年１０月）における同年代の青少年の自由時間をみると〔参考表－２〕に示すとおり，「有業者」は１５～１９才で男子３時間４１分，女子３時間１３分，２０～２９才では男子３時間３０分，女子３時間９分となっている。既に述べたとおり，本調査対象になった夜間に就学する勤労青少年の余暇時間は，平均して約２時間程度であり，就学していない勤労青少年と対比すると，余暇時間は約１時間くらい短くなっていると推測される。

一方，休日における余暇時間をみると「１０時間以上」が７割を占め最も多く，ついで「５時間以上，１０時間未満」の２４.８％，「５時間未満の３.８％である。平均余暇時間は１２時間２１分で，性別にみると，男子

〔参考表－２〕　性，年令，有業無業別自由時間

（時間・分）

区分		有業者	無業者（通学・家事）
男	１５～１９才	3.41	3.44
	２０～２９才	3.30	4.57
女	１５～１９才	3.13	3.23
	２０～２９才	3.09	4.45

総理府「労働力調査特別調査報告」　（昭和４８年１０月）

が１２時間３５分，女子が１１時間５９分となっており，男子の方が余暇時間が多くなっている。高校生と短大・大学生では，余暇時間の差はほとんどみられたい。（第１７表）

第１７表　性，学校区分，休日の余暇時間別勤労青少年の構成

（%）

区分		総数	5時間未満	5時間以上10時間未満	10時間以上	不明	平均余暇時間
総数		(3,021) 100.0	3.8	24.8	70.2	1.2	１２時間２１分
性	男	(1,748) 100.0	3.6	23.5	71.7	1.2	１２時間３５分
	女	(1,267) 100.0	4.1	26.7	67.9	1.3	１１時間５９分
	不明	(6) 100.0	－	16.7	83.3	－	１７時間５５分
学校区分	高校	(2,526) 1,00.0	3.5	25.0	70.4	1.1	１２時間２１分
	短大・大学生	(495) 100.0	5.3	23.8	69.1	1.8	１２時間１６分

5　職業と学業の両立の状況

(1)　通学に対する事業所の時間配慮の有無

「職場では夜間学生に対して時間配慮がされていますか」との質問に対して，時間配慮がされていると答えた者は約7割で，3割が「いない」と答えている。時間配慮の内容は，「終業時刻が早い」が43.5％で最も多く，ついで，「残業をしない」の23.9％，「その他」4.0％となっている。

時間配慮がされていると答えた者は，高校生に多く72.4％である。

事業所の規模別にみると，配慮されていると答えた者は，30人未満が78.3％で最も高い割合を占め，30人以上100人未満が69.0％，100人以上1,000人が66.0％で，規模の小さい事業所のほうが配慮している事業所が多い傾向がみられるが，1,000人以上では，69.6％とわづかにその割合が高くなっている（第18表）。

産業別には，建設業・卸売，小売業，サービス業で，配慮されていると答えた者の割合が高く，その詳細は付表1に示すとおりである。

第18表　学校区分，事業所の産業，規模，時間配慮の有無別勤労青少年の構成

(%)

		総数	時間配慮がされている。(注)						不明
			小計	終業時刻が早い	残業をしない	その他	不明	されていない	
総数		(3,021) 100.0	71.9	43.5	23.9	4.0	0.5	27.7	0.4
学校区分	高校	(2,526) 100.0	72.4	44.4	23.9	3.7	0.4	27.3	0.3
	短大・大学	(495) 100.0	69.3	39.2	24.0	5.5	0.6	29.9	0.8
事業所の規模	30人未満	(1,196) 100.0	78.3	51.9	22.9	3.1	0.4	21.4	0.3
	30人以上100人未満	(542) 100.0	69.0	44.6	21.4	2.8	0.4	30.4	0.6
	100人以上1,000人未満	(921) 100.0	66.0	31.7	27.5	6.4	0.4	33.8	0.2
	1,000人以上	(322) 100.0	69.6	44.7	22.1	2.2	0.9	30.1	0.3
	不明	(40) 100.0	72.5	42.5	20.0	7.5	2.5	22.5	5.0

注）　時間配慮がされている者の内訳は多答式のため，回答は小計を上回る。

つぎに，学校に通学するために職場の終業時刻が早くなっている者について，短縮されている時間はどの程度であるかをみると，「30分以上1時間未満」が多く46.6%，「1時間以上」28.4%，「15分以上30分未満」12.5%の順になっており，「15分未満」の時間短縮の者が8%みられる。

高校生と短大・大学生をくらべると，1時間未満の時間短縮は高校生に多く68.9%であるが，短大・大学生は57.2%で1時間以上が33.5%を占めている。

勤務している事業所の規模別にみると，規模の大きい事業所に勤務する者に1時間未満の者が多い傾向がみられる。

職場の定められた終業時刻よりも早く仕事をおえて，学校に通学する者について，その分の給料への影響をみると，調査対象者の69.4%は「かわりない」と回答しているが，「給料を差引かれる」と答えた者が22.6%，

「早出して補う」という者が7.2％となっている。

高校生と短大・大学生をくらべると，「かわりない」という者は高校生に多い。

勤務している事業所規模別では，「かわりない」という者は規模の小さい事業所に多く（３０人未満７１.２％，３０人以上１００人未満７２.８％），大規模事業所のほうがその割合が少い（１００人以上1,０００人未満６７.１％，1,０００人以上５９.０％）（第１９表）。

産業別にみると，就業時間が短かくなっていても給料は「かわりない」と答えている者は，建設業，金融・保険業に多い（付表２参照）。

(2) 事業所の休日と授業の関係

イ．学校と職場の休日の一致状況

学校は日曜日が休日であるが，対象となった勤労青少年の勤務する事業所の休日との関係をみると「大体同じ」が最も多く６９.５％「ちがう」が１８.１％となっており，職場の休日が「きまっていない」者が１２.２％である。事業所の産業別にみると「大体同じ」と答えるいるのは，金融・保険業が最も多く９１.１％で，製造業（７２.６％）がこれにつぎ，サービス業は最もその割合が少い（５９.５％）（第２０表）。

第１９表　学校区分・事業所の規模・短縮時間及び給料への影響別勤労青少年の構成

勤務時間の短縮される者＝１００％　（％）

区分		総数	短縮される時間					給料への影響			
			１５分未満	１５分以上３０分未満	３０分以上１時間未満	１時間以上	不明	給料を差引かれる	かわりない	早出して補う	不明
総数		(1,316) 100.0	8.1	12.5	46.6	28.4	4.4	22.6	69.4	7.2	0.8
学校区分	高校	(1,122) 100.0	9.0	12.9	47.0	27.5	3.6	22.6	70.6	6.2	0.6
	短大・大学	(194) 100.0	3.1	10.3	43.8	33.5	9.3	23.2	62.4	12.4	2.0
事業所の規模	３０人未満	(621) 100.0	6.1	8.2	41.7	37.7	6.3	24.3	71.2	3.9	0.6
	３０人以上１００人未満	(242) 100.0	8.3	14.0	53.7	21.1	2.9	19.4	72.8	7.0	0.8
	１００人以上1,000人未満	(292) 100.0	11.0	20.9	45.9	19.5	2.7	18.5	67.1	13.7	0.7
	1,000人以上	(144) 100.0	10.4	13.2	54.2	20.1	2.1	30.6	59.0	9.0	1.4
	不明	(17) 100.0	11.8	－	70.5	11.8	5.9	11.8	82.3	－	5.9

第２０表　事業所の産業，学校と職場の休日の一致状況別勤労青少年の構成

(%)

区　分	総　数	大体同じ	ちがう	きまっていない	不　明
総　数	(3,021) 100.0	69.5	18.1	12.2	0.2
製造業	(1,176) 100.0	72.6	15.8	11.4	0.2
建設業	(263) 100.0	68.8	19.0	11.8	0.4
卸売・小売業	(284) 100.0	65.1	25.3	9.2	0.4
金融・保険業	(56) 100.0	91.1	7.1	1.8	—
運輸・通信業	(90) 100.0	68.9	18.9	12.2	—
サービス業	(676) 100.0	59.5	23.8	16.7	—
その他	(473) 100.0	76.8	11.8	11.2	0.2
不　明	(3) 100.0	100.0			

ロ．職場の週休二日制実施状況

調査対象となった勤労青少年に「あなたの職場では週休２日制が実施されていますか」と質問したところ，「いる」と答えた者が３０.１％で，その内容をみると，「月１回又は１週おき」が多く１９.９％，つぎが「毎週」で6.３％である。

規模別にみると，週休２日制を実施している事業所は大規模事業所に多く，1,０００人以上では６５.８％であるが，１００人以上1,０００人未満は４１.９％，３０人以上１００人未満２８.８％，３０人未満１１.８％となっている。

産業別では，金融・保険業，製造業に週休２日制を実施しているところが多く，サービス業，建設業は実施しているところが少ない（第２１表）。

第21表　事業所の規模・産業・週休二日制の実施状況別勤労青少年の構成

(%)

区分		総数	週休二日制を実施している 小計	毎週	月1回又は1週おき	その他	不明	実施していない	不明
総数		(3,021) 100.0	30.1	6.3	19.9	3.8	0.1	69.7	0.2
事業所の規模	30人未満	(1,196) 100.0	11.8	2.0	9.0	0.7	0.1	88.1	0.1
	30人以上100人未満	(542) 100.0	28.8	2.4	23.3	3.1	—	71.2	—
	100人以上1,000人未満	(921) 100.0	41.9	6.8	28.2	6.8	0.1	57.7	0.4
	1,000人以上	(322) 100.0	65.8	26.7	31.0	8.1	—	34.2	—
	不明	(40) 100.0	32.5	7.5	20.0	5.0	—	65.0	2.5
事業所の産業	製造業	(1,176) 100.0	51.4	12.7	30.9	7.6	0.2	48.6	—
	建設業	(263) 100.0	9.5	2.7	6.4	0.4	—	90.1	0.4
	卸売・小売業	(284) 100.0	22.2	1.1	19.3	1.8	—	77.4	0.4
	金融・保険業	(56) 100.0	51.8	1.8	46.4	3.6	—	44.6	3.6
	運輸・通信業	(90) 100.0	36.7	7.8	20.0	8.9	—	63.3	—
	サービス業	(676) 100.0	14.6	2.1	11.5	1.0	—	85.4	—
	その他	(473) 100.0	11.0	1.5	8.7	0.8	—	88.6	0.4
	不明	(3) 100.0	100.0	33.3	66.7	—	—	—	—

ハ．週休二日制と通学の状況

職場で週休二日制を実施していると答えた者（調査対象者の3割）について，「週休2日制になった方が学校に行きやすいですか」と聞いてみると，「行きやすい」という者が多く42.7%を占めるが，「行きにくい」という者もかなりおり37.4%である。また，「わからない」という者も少なくなく18.2%を占めている。

週休二日制になって学校に行きやすくなったという者は，高校生よりも短大・大学生に，いくぶん多くなっている。

調査対象となった勤労青少年の勤務する事業所規模別にみると規模の小さい事業所に「行きやすい」という者が多い傾向がみられ，３０人未満の事業所は５４.６％であるが，1,０００人以上は４０.１％である。

週休二日制になって学校に「行きにくい」と答えた者ほとんどは「職場の休日に学校に出るのがおっくうになるから」と答えており，短大・大学生よりも高校生にその割合が多くなっている。事業所の規模別にみると，規模の大きい事業所に勤務する者のほうが，職場の休日に学校に出るのがおっくうになると答えている者が多くなっている（1,０００人以上３９.１％，３０人未満２２.７％）。

週休二日制になって平日の労働時間が長くなったから学校に行きにくくなった者は，3.3％である（第２２表）。

(3) 学校の行事等の参加方法

働きながら，夜間に就学している勤労青少年は，修学旅行，遠足など各種の学校行事等への参加はどのようにしているかを質問したところ，第２３表のとおりの結果であった。

＜修学旅行＞

修学旅行に際し，「有給休暇をあてる」という者が最も多く３１.２％，ついで事業所から「特別な休暇が与えられる」の１５.５％，「欠勤して参加する」の１２.１％であるが，「例がないのでわからない」という者も２８.８％となっている。「特別な休暇が与えられる」者について，その内容をみると6.8％は「出勤と同じ扱いになる」が，5.1％は「給与，精勤手当に影響する」と答えている。

第２２表　学校区分，規模，時間配慮の有無，週休二日制実施後の通勤の状況別勤労青少年の構成

週休二日制を実施している事業所に勤務している青少年数＝１００％

区分		総数	行きやすい	行きにくい 小計（注）	平日の労働時間が長くなった	休日に学校に出るのがおっくう	その他	不明	わからない	不明
総数		(908) 100.0	42.7	37.4	3.3	33.6	0.8	0.2	18.2	1.7
学校区分	高校	(758) 100.0	41.6	37.7	2.2	34.6	0.8	0.3	19.0	1.7
	短大・大学	(150) 100.0	48.7	36.0	8.7	28.6	0.7	－	14.0	1.3
事業所の規模	30人未満	(141) 100.0	54.6	24.8	0.7	22.7	0.7	0.7	18.5	2.1
	30人以上100人未満	(156) 100.0	39.8	36.5	1.9	34.0	0.6	－	22.4	1.3
	100人以上1,000人未満	(386) 100.0	40.4	38.3	2.6	34.4	1.3	0.3	19.2	2.1
	1,000人上以	(212) 100.0	40.1	44.8	7.1	39.1	－	－	14.2	0.9
	不明	(13) 100.0	61.5	38.5	7.7	30.8	－	－	－	－

短大・大学生の6割は「例がないのでわからない」と答えているが，高校生の場合は，「有給休暇をあてる」が35.0％,「特別な休暇が与えられる」が18.1％で高い割合を占めているが「欠勤して参加する」という者も14.2％いる。

＜遠　足＞

遠足は「仕事と重ならないので参加できる」という者が最も多く42.2％,「有給休暇をあてる」という者が9.2％，「特別な休暇が与えられる」という者が7.9％である。短大・大学生の場合は，修学旅行と同様「例がないのでわからない」が半数を占める。

＜運動会＞

「仕事と重ならないので参加できる」が最も多く57.0％である。

高校生の場合「仕事と重ならないので参加できる」が6割以上を占めるが「特別な休暇を与えられる」という者も7.1％で短大・大学生の2.0％を上回っている。

短大・大学生の場合，3分の1以上が「例がないのでわからない」と答えているが，「仕事にさしつかえるので参加できない」「有給休暇をあてる」という者が各1割を占め，高校生を上回っている。

＜文化祭＞

「仕事と重ならないので参加できる」という者が6割を占め最も多い。高校生の場合，「仕事と重ならないので参加できる」「特別な休暇を与えられる」「欠勤して参加する」という者が，短大・大学生を上回っている。短大・大学生は，「仕事にさしつかえるので参加できない」という者が15.2％で，高校生の5.3％を,「有給休暇をあてる」という者が10.7％で高校生の6.7％をそれぞれ上回っている。

第23表　学校の行事，行事への参加方法別

区分		総数	特別な休暇が与えられる			
			小計	出勤と同じ扱いになる	給与・諸手当に影響する	不明
修学旅行	総数	100.0 (3,021)	15.5	6.8	5.1	3.6
	高校生	100.0 (2,526)	18.1	8.1	5.9	4.2
	短大・大学生	100.0 (495)	2.2	0.4	1.4	0.4
遠足	総数	100.0 (3,021)	7.9	3.2	3.4	1.3
	高校生	100.0 (2,526)	9.1	3.7	3.9	1.5
	短大・大学生	100.0 (495)	1.8	1.0	1.4	0.4
運動会	総数	100.0 (3,021)	6.2	2.3	2.9	1.0
	高校生	100.0 (2,526)	7.1	2.6	3.4	1.1
	短大・大学生	100.0 (495)	2.0	0.8	0.8	0.4
文化祭	総数	100.0 (3,021)	6.1	2.7	2.4	1.0
	高校生	100.0 (2,526)	6.9	3.0	2.7	1.2
	短大・大学生	100.0 (495)	2.0	1.2	0.8	—
試験・考査	総数	100.0 (3,021)	5.8	2.7	1.6	1.5
	高校生	100.0 (2,526)	6.0	2.8	1.8	1.6
	短大・大学生	100.0 (495)	5.2	2.4	1.6	1.2
実習	総数	100.0 (3,021)	4.0	1.8	1.2	1.0
	高校生	100.0 (2,526)	3.5	1.6	1.0	0.9
	短大・大学生	100.0 (495)	6.7	3.1	2.2	1.4

勤労青少年の構成

(%)

有給休暇をあてる	仕事と重ならないので参加できる	仕事にさしつかえるので参加できない	欠勤して参加する	例がないのでわからない	不明
31.2	2.4	3.0	12.1	28.8	7.0
35.0	2.4	2.9	14.2	22.7	4.7
12.1	2.2	3.7	1.6	59.4	18.8
9.2	42.2	5.9	7.6	22.3	4.9
9.1	48.1	6.0	8.7	16.8	2.2
10.1	12.5	5.3	1.6	49.9	18.8
6.0	57.0	5.2	5.6	15.5	4.5
5.3	63.0	4.3	6.3	12.0	2.0
9.7	26.3	9.9	1.6	33.1	17.4
7.4	59.6	6.9	6.6	9.9	3.5
6.7	62.4	5.3	7.0	9.6	2.1
10.7	45.5	15.2	4.2	11.7	10.7
8.1	61.1	2.1	5.8	12.4	4.7
5.6	63.5	1.9	5.2	13.6	4.2
20.6	48.5	3.3	8.9	6.2	7.3
6.4	23.4	1.9	5.3	49.3	9.7
3.4	25.7	1.8	4.1	52.1	9.4
21.4	11.9	2.6	11.1	34.8	11.5

＜試験・考査＞

「仕事と重ならないので参加できる」が約6割を占め最も多い。高校生の場合，「仕事に重ならないので参加できる」「特別な休暇を与えられる」者が短大・大学生を上回っているのに対して短大・大学生は「有給休暇をあてる」，「欠勤して参加する」者が高校生よりも多くなっている。

＜実　習＞

「例がないのでわからない」が多く約半数であるが，高校生の場合は52.1％で，短大・大学生（34.8％）よりもその割合が多くなっている。その他の回答では，高校生の場合は「仕事と重ならないので参加できる」という者が多く，短大・大学生の場合，「有給休暇をあてる」という者が多い。

事業所規模別に，各行事等への参加方法をみると，全般的に，「有給休暇をあてる」という者は，大規模事業所に勤務する者程高い割合を占め，逆に「特別な休暇を与えられる」という者は，小規模事業所に勤務する者程高い割合を占める傾向がみられる（付表5～10）。

(4) 仕事の学業への影響

イ 学校の欠席等の状況

昭和49年10月中に，学校を欠席したことがあると答えた者は63.6%で，このうち「仕事の都合によるもの」は27.9%である。

性別にみると学校を欠席したことがある者は男子に多く（男子66.4%女子59.7%），また「仕事の都合によるもの」も男子に多い（男子33.3%，女子20.5%）。

高校生と短大・大学生をくらべると，欠席者は短大・大学生に多く，「仕事の都合によるもの」もまた短大・大学生に多くなっている。

ところで，1月当り平均学校の欠席日数は3.7日で，このうち「仕事の都合によるもの」は2.9日である。性別にみると，男子のほうが欠席日数が多く（男子4.0日，女子3.1日），このうち「仕事の都合によるもの」も男子に多い（男子3.0日，女子2.5日）。同じく，高校生と短大・大学生を比較すると，短大・大学生は1月当り平均学校欠席日数が多く，このうち「仕事の都合によるもの」も短大・大学生が多い（第24表）

雇用形態によって，学校の欠席日数が異るかどうかをみると，本採用の者の平均学校欠席日数は臨時・アルバイトなどの者よりも少いが，このうち「仕事の都合によるもの」は本採用のほうが多くなっている（付表4参照）。

第２４表　性，学校区分，学校欠席の有無及び平均欠席日数別勤労青少年の構成

（%）

区分		総数	欠席しない	欠席した 小計	欠席した 仕事以外	欠席した 仕事による	欠席した 不明	不明	1月当り平均欠席日数 欠席日数	1月当り平均欠席日数 仕事による欠席日数
総数		(3,021) 100.0	36.3	63.6	34.1	27.9	1.6	0.1	3.7	2.9
性	男	(1,748) 100.0	33.4	66.4	31.1	33.3	2.0	0.2	4.0	3.0
	女	(1,267) 100.0	40.2	59.7	38.1	20.5	1.1	0.1	3.1	2.5
	無記入	(6) 100.0	50.0	50.0	50.0	－	－	－	3.0	－
学校区分	高校	(2,526) 100.0	38.0	62.0	34.8	25.6	1.6	0.0	3.5	2.7
	短大・大学	(495) 100.0	27.9	71.5	29.9	39.6	2.0	0.6	4.7	3.5

ロ　仕事の都合により進学できなかったことの有無

「これまでに仕事の都合で進級できなかったことがありますか」との質問に対して，そういうことはないと答えている者が97.5％と多い。性別にみても大きな差はみられないが，仕事の都合で進級できなかったということはないと答えている者は女子に多く98.6％であるが，男子は96.9％である（第25表）。

第25表　性別仕事の都合による学校の進級延伸の有無

区　分	総　数	ある	ない	不　明
総　数	(3,021) 100.0	1.5	97.5	1.0
男	(1,748) 100.0	2.1	96.9	1.0
女	(1,267) 100.0	0.6	98.6	0.8

(5)　通学に関連のある転職

学校の都合や学校に行くために，転職したことが「ある」者は13.3％，「ない」者は86.5％である。

学校にゆくためなどの理由で転職した経験の「ある」者の割合は，高校生は11.9％であるが，短大・大学生は20.2％と高い。

雇用形態でみると，臨時・アルバイトなどでは25.6％が学校にゆくためなどによる転職経験を持つ者で，本採用にくらべると著しく高い。また，調査対象者が勤務する事業所における週休二日制実施の有無別にみると，実施している事業所よりも実施していない事業所に勤務する者の方が学校にゆくための理由による転職率が高い。（第26表）

第２６表　性，学校区分，雇用形態，週休二日制実施の有無
学校の都合及び通学事由の転職の有無

（%）

区分		総数	あり	なし	不明
総数		(3,021) 100.0	13.3	86.5	0.2
性	男	(1,748) 100.0	13.6	86.2	0.2
	女	(1,267) 100.0	12.8	87.0	0.2
	不明	(6) 100.0	16.7	83.3	—
学校区分	高校	(2,526) 100.0	11.9	87.9	0.2
	短大・大学	(495) 100.0	20.2	79.4	0.4
雇用形態	本採用	(2,540) 100.0	11.0	88.8	0.2
	臨時・アルバイトなど	(477) 100.0	25.6	74.4	—
	不明	(4) 100.0	—	100.0	—
週休二日制の実施有無	実施している	(908) 100.0	9.8	90.0	0.2
	実施していない	(2,107) 100.0	14.7	85.2	0.1
	不明	(6) 100.0	50.0	33.3	16.7

(6) 学業継続の意志

「今の状態でゆくと学校を続けられそうですか」との質問に対して約8割が「続けられそう」と答えており，「迷っている」「わからない」がそれぞれ1割となっている。「迷っている」理由として，最も多いのが「疲れる」で5.3％，ついで「仕事が忙しい職場に気がね」の4.1％「勉強がむずかしい」の2.0％となっている。

学校を続けることについて「迷っている」「わからない」という者は，それぞれ女子よりも男子に多くなっている。

また，高校生と比べると，「迷っている」者は短大・大学生が上回っており「わからない」と答えている者は高校生に多い。

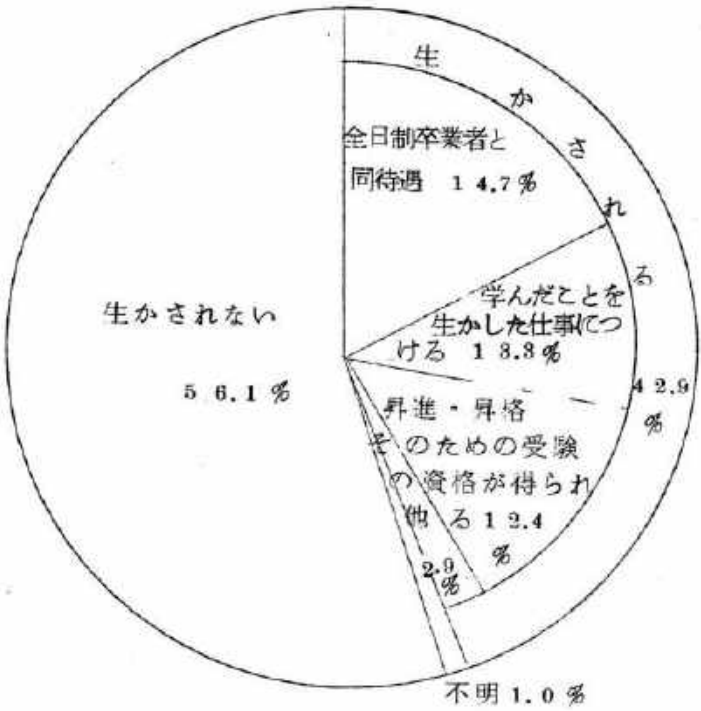
調査対象となった勤労青少年が就業している職場において就学のための時間配慮のある事業所と，時間配慮がない事業所とくらべると，学校を続けられそうと答えている者は，時間配慮があると答えている事業所に多くなっている（第27表）。

(7) 学校卒業資格の取扱

「学校を出たら，今の職場でその資格が生かされますか」との質問に対して「生かされる」という者は42.9％で，そのうち14.7％の者が「全日制卒業者と同じ待遇になる」，13.3％の者が「学んだことが生かせる仕事につける」，12.4％の者が「昇進・昇格のための資格が得られる」と答えている。

「生かされない」という者は56.1％を占める。（図1．第28表）

図1. 卒業資格の取扱別勤労青少年の構成



「生かされる」と答えた者は，高校，短大・大学別にみると，高校生が多くく44.6%，短大・大学生は34.6%である。そのうち高校生の場合「全日制卒業者と同じ待遇になる」という者が多いのに対し，短大・大学生では，「学んだことを生かした仕事につける」という者が多く，それぞれ同じ割合（16.4%）となっている。また，事業所の規模別にみると小規模事業所ほど「生かされる」という者の割合が多い。「生かされる」と答えた者の内容をみると，100人以上の事業所の場合「全日制卒業者と同じ待遇になる」者が比較的多いのに対し，100人未満では「学んだことを生かせる仕事につける」が多くなっている　（第28表）。

従事する職種別にみると，学校を出たら，今の職場でその資格が「生かされる」と答えている者は，サービス職業，販売員に多く，事務，運輸，通信工場の現業は「総数」の割合を下回っている。（付表１１参照）

(8) 職業継続の意志

「卒業後も今の職場で働くつもりですか」と質問したところ，「やめる」という者が最も多く４４.０％ついで「わからない」の３１.８％，「続ける」という者は２４.０％である。

職場を「続ける」という者の多くは（２０.４％）は「今の仕事を続けたい」と答えている。職場をやめるという者の過半数は，「別の会社で別の仕事につきたい」（２３.６％）といっており，「同じ仕事だが別会社に変りたい」（4.8％）という者もいる

性別にみると，「今の職場を続ける」という者は男子に多く２７.４％，女子は１９.４％であるが，男女ともに今の職場を「やめる」と答えているもののほうが多くなっている（男子４１.０％，女子４８.１％）。高校，短大・大学別にみると，「今の職場を続ける」という者は，高校生が２３.０％で，短大・大学生が２９.５％となっており，短大・大学生の方がその割合が高い。一方，「今の職場をやめる」という者の割合も短大・大学生が高校生を上廻っており，「わからない」と答えている者は高校生に多く約３分の１を占めている

学校卒業後，その資格が今の職場で生かされるかどうかということと，今の職場で働き続けることとの関連をみると，「今の職場を続ける」という者は，「その資格が職場で生かされている」と答えた者に多く３３.８％で，「生かされない」という者は，6.7％にすぎない。今の職場をやめるという者は「その資格が職場で生かされる」と答えている者では３４.５％に対して，

「その資格がその職場で生かされない」と答えている者では51.4%と多くなっており，職場での学校卒業資格のあつかい方と，職場の継続意志とは関連があるとみられるのである（第29表）。

調査対象者が勤務する事業所規模別にみると今の職場を「続ける」という者は規模の大きい事業所のほうに多い傾向がみられる。職種別では「続ける」という者は事務に多く，サービス職業がこれにつぎ，最もその割合が少いのは販売員となっている。（付表12参照）

(9) 高校生の進学希望

高校生に対して，「卒業後は大学などでもっと勉強したいですか」と質問したところ，51.0%が「進学したい」と答えている。

性別にみると「進学したい」という者は男子が49.0%女子が53.3%で女子が男子をやや上回っているが，男子は夜間又は昼間の大学への進学を希望している者が多いのに対し，女子は各種学校への進学を希望している者が多い。

職場継続の意志と，進学希望との関連をみると，進学したい者は，今の職場を続けるという者は44.0%であるが，「今の職場をやめる」という者が59.6%で，「やめる」という者に進学希望者が多くなっている。（第30表）

第２７表　性，学校区分，事業所における時間配慮の有無，学業継続意志別勤労青少年の構成

（%）

区分		総数	続けられそう	迷っている 小計	仕事が忙しい 職場に気がね	疲れる	勉強がむずかしい	学校に行っても役にたたない	経済的に困難である	その他	不明	わからない	不明
総数		(3,021) 100.1	79.1	10.3	4.1	5.3	2.0	1.1	1.3	2.0	0.0	10.4	0.1
性	男	(1,748) 100.0	76.6	11.4	4.9	5.6	2.5	1.2	1.8	2.2	—	11.8	0.2
	女	(1,267) 100.0	82.5	8.9	3.1	4.8	1.3	1.0	0.6	1.7	0.1	8.5	0.1
学校区分	高校	(2,526) 100.0	79.7	9.5	3.5	4.7	1.7	1.0	1.2	1.8	0.0	10.8	0.0
	短大・大学	(495) 100.0	76.1	15.0	7.5	8.1	3.4	1.6	2.2	3.2	—	8.1	0.8
時の間有配無慮	あり	(2,171) 100.0	80.8	10.0	4.3	4.9	2.0	1.1	1.3	1.9	—	9.2	0.0
	なし	(838) 100.0	74.8	11.2	3.7	6.2	1.9	1.1	1.2	2.4	0.1	13.6	0.4

第２８表　性，学校区分，事業所の規模，学校卒業資格の取扱別勤労青少年の構成

（%）

区分		総数	卒業資格が生される（注） 小計	全日制卒業者と同じ待遇になる	学んだことを生かした仕事につける	昇進・昇格のための受験資格が得られる	その他	不明	生かされない	不明
総数		(3,021) 100.0	42.9	14.7	13.3	12.4	2.9	1.0	56.1	1.0
性	男	(1,748) 100.0	43.0	13.3	16.9	10.3	3.3	1.1	56.2	0.8
	女	(1,267) 100.0	42.8	16.6	8.5	15.2	2.4	0.8	55.9	1.2
学校区分	高校	(2,526) 100.0	44.6	16.4	12.7	12.9	2.7	1.0	54.5	0.9
	短大・大学	(495) 100.0	34.6	5.7	16.4	9.5	4.2	1.0	64.2	1.2
事業所の規模	30人未満	(1,196) 100.0	44.1	10.5	16.8	13.4	2.7	1.0	55.4	0.5
	30人以上100人未満	(542) 100.0	43.9	15.9	15.5	10.7	3.1	1.1	54.1	2.0
	100人以上1,000人未満	(921) 100.0	43.0	18.7	9.3	13.4	2.9	0.8	56.2	0.8
	1,000人以上	(322) 100.0	37.3	17.4	8.7	8.7	3.1	0.6	62.1	0.6

（注）生かされるの内訳は多答式のため回答は小計を上回る。

第２９表　性，学校区分，卒業資格の取扱 勤務継続意志別勤労青少年の構成

（%）

区分		計	続ける				やめる							わからない	不明
			小計	今の仕事を続けたい	資格を生かし別の仕事に変りたい	不明	小計	同じ仕事だが別会社に変りたい	別の会社で別の仕事につきたい	独立して仕事をする	家の仕事をする	その他	不明		
計		(3,021) 100.0	24.0	20.4	3.2	0.4	44.0	4.8	23.6	4.1	1.4	9.2	0.9	31.8	0.2
性	男	(1,748) 100.0	27.4	23.0	4.0	0.4	41.0	4.3	23.1	4.8	1.5	6.4	0.9	31.4	0.2
	女	(1,267) 100.0	19.4	16.8	2.0	0.6	48.1	5.6	24.2	3.2	1.3	13.1	0.7	32.3	0.2
学校区分	高校	(2,526) 100.0	23.0	20.1	2.4	0.5	43.7	5.4	23.8	4.1	1.5	8.2	0.7	33.2	0.1
	短大・大学	(495) 100.0	29.5	21.8	7.1	0.6	45.7	2.0	22.8	4.1	0.8	14.2	1.8	24.2	0.6
卒業資格の取扱	生かされる	(1,297) 100.0	33.8	28.6	5.0	0.2	34.5	6.3	16.1	2.8	1.5	7.2	0.4	31.6	0.1
	生かされない	(1,694) 100.0	16.7	14.2	1.8	0.7	51.4	3.7	29.6	4.9	1.4	10.6	1.2	31.8	0.1

第３０表　性，職場継続の意志，高校生の進学希望別勤労青少年の構成

（%）

区分		総数	進学したい	昼間の大学	夜間大学	通信教育	各種学校	その他	不明	したくない	不明
		(2,526) 100.0	51.0	10.4	18.4	1.9	18.6	1.6	0.1	48.4	0.6
性	男	(1,389) 100.0	49.0	12.0	23.9	3.0	8.4	1.7	0.2	50.3	0.7
	女	(1,131) 100.0	53.3	8.2	11.7	0.6	31.2	1.6	—	46.1	0.6
職場継続の意志	続ける	(580) 100.0	44.0	4.1	17.6	3.1	17.6	1.7	—	54.8	1.2
	やめる	(1,104) 100.0	59.6	15.9	19.0	1.8	20.9	1.8	0.2	40.2	0.2
	わからない	(840) 100.0	44.4	7.3	18.1	1.3	16.3	1.3	0.1	54.6	1.0

6　勤労青少年の余暇生活

(1)　余暇の活用状況

「4.勤労青少年の生活環境及び生活時間(3)ト余暇時間」で述べたとおり，本調査の勤労青少年の平均余暇時間は，平日が２時間１１分（男子２時間，女子２時間１４分），休日が１２時間２１分（男子１２時間３５分，女子１１時間５９分）であるが，余暇時間の使い方をみてみよう。

平日の余暇の過ごし方は「休養」が最も多く５５.１％，ついで「友人と雑談」が４６.７％，「学校以外の勉強．読書」が３４.９％，「趣味．文化活動」が２９.２％，「学校の予習．復習」の２０.０％が上位を占めている。

性別にみると，平日の余暇の過し方に相異がみられ女子は「家事」「趣味．文化活動」「学校以外の勉強．読書」「友人と雑談」の占める割合が男子に較べて高いが，男子は「娯楽」「スポーツ」「映画・演劇・音楽・スポーツ観覧」等が女子を上回っている。

高校生と短大．大学生とを比較してみると，高校生は，「友人と雑談」「休養」で過ごす者の割合が高く，短大．大学生は，「学校以外の勉強．読書など」や「学校の予習．復習」等で過ごす者の割合が高い。スポーツ，ショッピングをする者は高校生に多いが，総数に占める割合は少ない。

平日の過ごし方は，男女とも，「休養」「友人と雑談」「学校以外の勉強．読書」「趣味．文化活動」「学校の予習．復習」の順に上位５位を占めているが，高校生と短大．大学生では異つた傾向がみられ，高校生は「総数」と同じ順位となっているが短大．大学生は「休養」「学校以外の勉強．読書」「友人と雑談」「学校の予習．復習」「趣味．文化活動」の順となっており，２位以下が入れかわっている。（第３１表）

休日の過ごし方は，「休養」が43.6％で平日と同様最も多いが，ついで「ショッピング」の39.0％，「映画・演劇・音楽・スポーツの観覧」35.0％，「友人と雑談」の24.5％，「旅行・ハイキング・ドライブ」20.5％「デート」19.2％，「家事」19.1％，「趣味・文化活動」18.7％の順となっており，平日に比べると休日の過ごし方は多様になっている。

性別にみると，「娯楽」，「スポーツ」「映画・演劇・音楽・スポーツ観覧」「旅行・ハイキング・ドライブ」は，男子の方が上回っている。女子は「ショッピング」が60.7％で圧倒的に多いほか，「家事」が，女子は，31.1％で，男子の約3倍となっている。「帰省」は女子に多く19.0％であるが，男子は8.9％にすぎない。

また，高校生の場合，「映画・演劇・音楽・スポーツの観覧」，「友人と雑談」「ショッピング」等で過ごす者が，短大・大学生を上回っているのに対し，短大・大学生は，「学校の予習・復習」「学校以外の勉強・読書など」「スポーツ」で過ごす者が高校生を上回っている。（第31表）

休日の過ごし方の上位5位までをとってみると，男子は，「休養」（43.9％）「映画・演劇・音楽・スポーツの観覧」（40.1％）「旅行・ハイキング・ドライブ」（25.6％）「友人と雑談」（25.2％）「ショッピング」（23.2％）の順であるが，女子は「ショッピング」（60.7％）「休養」（43.1％）「家事」（31.1％）「映画・演劇・音楽・スポーツの観覧」（27.9％）「友人と雑談」（23.4％）となっており，休日の余暇の過し方は平日とは異った傾向がみられる。高校と短大・大学生別にみると，高校生の場合「休養」「ショッピング」「映画・演劇・音楽・スポーツの観覧」「友人と雑談」「旅行・ハイキング・ドライブ」が上位5位を占めるが，短大・大学生の場合は「休養」「映画・演劇・音楽・スポーツの観覧」「学校以外の勉強・読書」「趣味・文化活動」「ショッピング」の順となっている。(第

３１表）

(2) 余暇をすごした場所

平日に余暇をすごした場所は，６５.５％が「自宅」であり，ついで，「職場」の３４.３％，「学校」の２３.３％で，平日の生活圏であるこの３カ所に集中しているが，「喫茶店・レストランなど」の１５.４％，「友人の家」の１１.８％も少くない。公共の文化体育施設を利用した者は，ごくわずかで，商業娯楽施設を利用した者のほうが多くなっている。

また，「職場」で過ごす者は，高校生は３７.３％で短大・大学生（１９.０％）よりも多く，「自宅」「喫茶店・レストランなど」で過ごした者は短大・大学生に多い。（第３２表）

平日に余暇を過ごした場所を性別に上位５位まであげると，男子は，「自宅」「職場」「学校」「喫茶店・レストランなど」「友人の家」の順で，女子は４位までは男子と同じであるが，５位「デパート・商店街など」となっている。同様に高校と短大・大学別にみると，高校生の場合，「自宅」「職場」「学校」「喫茶店・レストランなど」「友人の家」の順であり，短大・大学生の場合は「自宅」「学校」「喫茶店・レストランなど」「職場」「友人の家」の順となっている。

休日に余暇を過ごした場所は，「自宅」が６７.１％で最も多いが，ついで「デパート・商店街など」の４９.４％「喫茶店・レストランなど」の３９.７％，「友人の家」の３８.７％が平日と同様多い他，「公園など」の１８.７％「商業娯楽施設」の１７.４％等も多く，平日に比べて多様化している。

女子にくらべると男子は「喫茶店・レストランなど」「商業娯楽施設」「友人の家」等で過ごす者の割合が高く，女子は「デパート・商店街など」が６２.４％で「自宅」６７.３％についで高い割合を占めている。

また，高校生の場合，「デパート・商店街など」で過ごす者が，52.3％で短大・大学生の34.5％に比べ高い割合を占めているほか，「友人の家」で過ごす者も，短大・大学生が30.3％なのに対し40.3％と多い。大学生の場合は「商業娯楽施設」で過ごす者が高校生に比べ高い割合を占める。

（第32表）

休日に余暇を過ごした場所を上位5位までを性別にみると，男子は，「自宅」「喫茶店・レストランなど」「友人の家」「デパート・商店街など」「「商業娯楽施設」の順であるが，女子は，「自宅」「デパート・商店街など」「喫茶店・レストランなど」「友人の家」「公園」の順となっている。また高校と短大・大学生別にみると，高校生の場合は，「自宅」「デパート・商店街など」「友人の家」「喫茶店・レストランなど」「公園」が上位5位を占めるが，短大・大学生の場合は，「自宅」「喫茶店・レストランなど「デパート・商店街など」「友人の家」「商業娯楽施設」の順となっている。

（第32表）

(3) 週休二日制になったらしたいこと

週休二日制が完全に実施されていない事業所に勤務している者に，「週休二日制が広まったならば，「休日に何をしますか」の質問したところ，最も多いのが「旅行・ハイキング・ドライブ」の44.4％，ついで「休養」の32.2％，「映画・演劇・音楽・スポーツの観覧」の31.7％「趣味・文化活動」の24.8％，「スポーツ」の20.7％等が多い。「旅行・ハイキング・ドライブ」をしたいと思う者は，男女及び高校生，短大・大学生ともに最も高い割合を示している。

男子は女子に比べると「娯楽」「スポーツ」「デート」を希望する者が多く，女子は「ショッピング」，「帰省」を希望するものが多い。

第31表　平日，休日，性，学校区分別余暇活用状況

(%)

区分			総数	家事	休養	趣味・文化活動	学校の予習・復習	学校以外の勉強・読書など	娯楽	スポーツ	映画・演劇音楽・スポーツの観覧	友人と雑談	デート	ショッピング	旅行・ハイキング・ドライブ	帰省	家族団らん	その他	不明
平日	総数		(3,021) 100.0	17.3	55.1	29.2	20.0	34.9	7.6	7.7	14.5	46.7	2.1	5.7	1.1	1.9	15.1	5.2	1.8
	性	男	(1,748) 100.0	10.9	56.9	24.5	19.7	31.2	11.8	10.3	17.8	43.4	2.5	4.5	1.5	2.1	15.3	6.3	2.4
		女	(1,267) 100.0	26.3	52.6	35.5	20.3	40.0	1.7	4.0	9.9	51.2	1.4	7.3	0.6	1.7	14.8	3.8	0.9
		不明	(6) 100.0	16.7	50.0	33.3	33.3	50.0	—	16.7	—	33.3	—	16.7	—	—	33.3	—	—
	学校区分	高校	(2,526) 100.0	17.1	56.3	29.0	17.1	32.7	7.2	8.3	14.4	48.1	2.0	6.2	1.1	2.1	16.1	5.3	1.6
		短大・大学	(495) 100.0	13.6	49.3	29.9	34.5	46.1	9.7	4.4	14.7	39.2	2.4	3.2	1.0	0.8	9.9	5.1	2.8
休日	総数		(3,021) 100.0	19.1	43.6	18.7	5.8	13.3	17.1	12.1	35.0	24.5	19.2	39.0	20.5	13.2	8.7	2.6	0.6
	性	男	(1,748) 100.0	10.3	43.9	17.5	6.6	12.6	28.1	18.0	40.1	25.2	20.7	23.2	25.6	8.9	7.1	3.0	0.7
		女	(1,267) 100.0	31.1	43.1	20.2	4.7	14.2	2.1	4.0	27.9	23.4	17.2	60.7	13.5	19.0	10.9	2.1	0.4
		不明	(6) 100.0	33.3	50.0	33.3	—	—	—	16.7	33.3	33.3	16.7	50.0	16.7	16.7	—	—	—
	学校区分	高校	(2,526) 100.0	19.1	43.2	17.9	4.0	11.4	16.6	11.2	35.9	25.6	19.6	42.3	20.7	13.4	9.3	2.3	0.6
		短大・大学	(495) 100.0	19.0	45.7	22.4	14.9	22.6	19.6	17.1	30.1	19.0	17.6	22.2	19.2	12.1	5.5	4.0	0.6

(注)　多答式のため回答は100%を上回る。

第32表　平日，休日，性，学校区分別余暇をすごした場所

(%)

区分			総数	自宅	学校	職場	公,共の文化施設	公共の体育施設	商業娯楽施設	各種学校塾など	公園など	喫茶店・レストランなど	デパート・商店街など	友人の家	その他	不明
総数			(3,021) 100.0	65.5	23.3	34.3	1.2	1.2	3.4	1.4	2.9	15.4	5.2	11.8	9.2	1.8
平日	性	男	(1,748) 100.0	67.3	22.9	33.6	1.3	1.7	5.4	1.4	3.6	19.9	3.9	15.8	6.1	2.3
		女	(1,267) 100.0	63.1	23.8	35.4	1.1	0.6	0.6	1.4	2.1	9.4	6.9	6.3	13.7	1.0
		不明	(6) 100.0	66.7	16.7	16.7	—	—	—	16.7	—	—	—	—	—	—
	学校区分	高校	(2,526) 100.0	63.8	23.5	37.3	1.0	1.2	2.8	1.2	3.0	14.1	5.3	11.4	9.8	1.4
		短大・大学	(495) 100.0	74.1	22.5	19.0	2.2	1.2	6.3	2.4	2.4	22.4	4.2	13.9	6.5	3.6
休日	計		(3,021) 100.0	67.1	5.4	5.8	5.4	5.7	17.4	1.5	18.7	39.7	49.4	38.7	9.9	0.7
	性	男	(1,748) 100.0	66.9	5.1	6.4	5.5	7.8	25.2	1.5	21.6	43.6	40.0	42.5	9.1	0.8
		女	(1,267) 100.0	67.3	5.8	5.1	5.2	2.8	6.7	1.6	14.5	34.3	62.4	33.5	11.0	0.6
		不明	(6) 100.0	66.7	16.7	—	—	—	—	—	33.3	—	33.3	33.3	—	—
	学校区分	高校	(2,526) 100.0	66.6	4.8	5.7	4.4	5.0	15.8	1.3	19.3	40.0	52.3	40.3	9.9	0.6
		短大・大学	(495) 100.0	69.5	8.9	6.5	10.3	9.1	25.7	2.4	15.4	37.8	34.5	30.3	9.7	1.2

(注)　多答式のため，回答は100%を上回る。

また，高校生と短大・大学生を比較すると高校生の場合，「映画・演劇・音楽・スポーツ等の観覧」「友人と雑談」「ショッピング」を希望するものの割合が高く，大学生の場合は，「趣味・文化活動」「学校の予習・復習」「学校以外の勉強・読書など」「スポーツ」を希望するものの割合が高い。

「週休2日制が広まったならばしたいこと」上位5位までを男女別にあげると，男子の場合は，「旅行・ハイキング・ドライブ」（43.8%）「映画・演劇・音楽・スポーツ等の観覧」（31.8%）「休養」（31.0%）「スポーツ」（26.1%）「趣味・文化活動」（22.5%）の順となり，女子の場合は，上位3位までは男子と同じであるが，4位「趣味・文化活動」5位「ショッピング」の順となり，男子と女子で「スポーツ」と「ショッピング」が入れ替わっている。（第33表）

直接比較するどとは問題があろうが，実際の休日の過ごし方上位5位と比較してみると，希望するもののうち上位5位に入っていないものは，男子が「スポーツ」と「趣味・文化活動」であり，女子は「旅行・ハイキング・ドライブ」と「趣味・文化活動」である。

また，高校と短大・大学別に「週休二日制が広まったならばしたいこと」を上位5位までをあげると，高校生の場合は，「旅行・ハイキング・ドライブ」（44.2%）「映画・演劇・音楽・スポーツ等の観覧」（33.0%）「休養」（32.9%）「趣味・文化活動」（23.2%）「ショッピング」（20.2%）の順となっており，短大・大学生の場合は，「旅行・ハイキング・ドライブ」（45.3%）「趣味・文化活動」（32.6%）「勉強以外の勉強・読書など」（30.0%）「スポーツ」（29.2%）「休養」（28.5%）の順となっている（第33表）。実際の休日の過ごし方の上位5位までと比較すると，希望するもののうち入ってないものは，高校生の場合は「趣味・文化活動」であり，大学生の場合は，「旅行・ハイキング・ドライブ」と「スポーツ」である。

(4) 施設の利用状況

イ 余暇に利用した施設

過去1年間，勤労青少年が余暇に利用したことのある施設は，「体育施設」が81.0%，「文化施設」が42.6%，「その他の施設」が44.9%である。一方，「何も利用しない」という者は9.8%となっている。

体育施設のなかで，最も多く利用しているのは，56.1%の「ボウリング場」，ついで31.6%の「スケート場」，31.0%の「プール」，29.2%の「卓球場」，29.1%の「グランド」である。性別にみると体育施設を利用した者の割合は，男子が多く（男子84.9%，女子75.7%），特に「プール」「グランド」「スキー場」で，女子に比べ男子の利用率が高い。

また，短大・大学生の体育施設の利用率は高校生を上回っているが，特に，「その他の屋内体育施設」「グランド」「その他の屋外体育施設」「スキー場」「プール」を利用した者が高校生よりも多い。（第34表）

文化施設では，「図書館」の26.3%「催場」の25.1%，「講座・塾など」の6.6%となっている。文化施設の利用状況は，高校生と短大・大学生では大きな差がみられ，短大・大学生の利用率がいちじるしく高く，すべての施設において高校生の利用率を上回わり，特に，「図書館」は高校生が21.2%であるのに対し52.3%の者が利用している。（第34表）

体育施設と文化施設の他に利用した施設として最も多いのは「旅行・宿泊施設」の35.7%，ついで「集会所」の10.4%「勤労青少年ホーム等総合施設」の6.3%，となっている。大学生の場合，特に「旅行宿泊施設」の利用が50.3%で高い割合を占めている。（第34表）

なお，「何も利用しない」という者は，女子に多く12.5%であるが，男子は7.7%となっている。

また，高校と短大・大学別にみると「何も利用しない者」は，高校生は11.0％で短大・大学生（3.4％）よりもその割合が多い。（第34表）

ロ　利用できなかった施設とその理由

余暇に「利用したかったが，利用できなかったものがありますか」の問に対して，「ある」と答えた者は30.6％，「ない」者は67.3％である。「利用できなかった施設」がある者は，女子に多く，また高校生よりも短大大学生に多くなっている。

利用できなかったと答えている施設は，「体育施設」が19.5％，「文化施設」が11.1％「その他の施設」が11.7％である。

これを各施設別にみると，体育施設では「スケート場」（6.9％）「スキー場」（6.5％）「テニス・バレーコート」（5.0％）が多く，文化施設では，「図書館」（6.4％），その他の施設では，「旅行宿泊施設」（7.0％）「勤労青少年ホーム等総合施設」（4.5％）が多い。（第35表）

利用できなかった施設があるという者について，利用できなかった理由をみると，「時間的に利用できない」が最も多く，59.8％となっており，ついで「場所が不便」（23.5％），「休日に利用者が集中する」（22.1％），「料金が高い」（21.6％），「手続きがめんどう」（12.0％）「使い方がわからない」（11.0％），「ふんいきが入りにくい」（7.1％）の順となっている。特に，「時間的に利用できない」という者は，男女ともに，また高校生，短大・大学生別にみても，最も高い割合となっており，就学する勤労青少年にとって時間がないことが施設を利用できない最大の理由となっている。（第36表）

(5) 身近にほしい施設

就学する勤労青少年が「身近にほしい施設」としてあげているものは、「体育施設」が49.4%で，希望している者が最も多く，ついで「文化施設」が21.7%「その他の施設」が20.7%となっている。身近にほしい施設が「何もない」という者は22.4%である。

これを各施設別にみると，体育施設では「その他の屋内体育施設」（14.1%）「テニス，バレーコート」（14.0%）「スケート場」（13.1%）「卓球場」（9.0%）等が多くなっており，文化施設では「図書館」（14.8%）の希望が多く，その他では「勤労青少年ホーム等総合施設」（9.1%）が高い割合を占めている。（第37表）。

第３３表　性，学校区分，週休二日制実施後の余暇活動の希望状況別勤労青少年の構成

(%)

区分		総数	家事	休養	趣味・文化活動	学校の予習・復習	学校以外の勉強・読書など	娯楽	スポーツ	映画・演劇音楽・スポーツ等の観覧	友人と雑談	デート	ショッピング	旅行・ハイキング・ドライブ	帰省	家族団らん	その他	不明
総数		(2,832) 100.0	7.7	32.2	24.8	9.4	17.4	10.1	20.7	31.7	12.5	15.8	17.7	44.4	12.4	5.9	1.4	9.5
性	男	(1,638) 100.0	6.0	31.0	22.5	10.0	16.0	15.9	26.1	31.8	13.9	19.7	11.8	43.8	7.6	3.9	1.5	9.8
	女	(1,189) 100.0	10.1	33.8	27.8	8.8	19.4	2.1	13.1	31.5	10.5	10.5	25.7	45.3	19.1	8.7	1.3	9.1
	不明	(5) 100.0	—	40.0	20.0	—	—	—	40.0	20.0	—	—	20.0	40.0	20.0	—	—	20.0
学校区分	高校	(2,362) 100.0	8.6	32.9	23.2	7.6	14.9	10.7	19.0	33.0	13.9	16.1	20.2	44.2	12.7	6.6	1.4	9.1
	短大・大学	(470) 100.0	3.4	28.5	32.6	18.5	30.0	6.8	29.2	24.9	5.3	14.3	5.1	45.3	11.3	2.1	1.3	11.5

（注）　多答式のため，回答は１００％を上回る。

完全週休二日制を実施していない事業所に勤務する青少年＝１００％

第３４表　性，学校区分，余暇利用施設別勤労青少年の構成

(%)

区分		総数	体育施設											文化施設				その他					何もない	不明
			小計	ボウリング場	卓球場	その他の屋内体育施設	グランド	コート	その他の屋外体育施設	スキー場	スケート場	ゴルフ場	プール	小計	講座塾など	図書館	催場	小計	集会所	ホーム等総合施設	旅行宿泊施設	その他		
総数		(3,021) 100.0	81.0	56.1	29.2	18.0	29.1	22.8	10.0	11.8	31.6	5.6	31.0	42.6	6.6	26.3	25.1	44.9	10.4	6.3	35.7	2.5	9.8	2.8
性	男	(1,748) 100.0	84.9	59.3	33.0	22.7	38.4	22.7	13.3	15.4	35.2	8.7	36.7	42.0	6.4	27.7	23.6	44.6	11.0	7.0	35.2	2.7	7.7	3.5
	女	(1,267) 100.0	75.7	51.7	24.1	11.5	16.3	22.7	5.4	6.6	26.7	1.3	23.1	43.6	6.9	24.3	27.2	53.7	9.6	5.3	36.5	2.2	12.5	1.8
	不明	(6) 100.0	83.3	50.0	16.7	16.7	16.7	66.7	—	16.7	16.7	—	33.3	33.3	—	16.7	16.7	16.7	16.7	—	—	—	16.7	—
学校区分	高校	(2,526) 100.0	80.0	56.1	29.5	16.4	27.3	22.6	8.6	9.8	31.7	5.3	29.4	37.8	5.3	21.2	23.1	41.6	8.9	5.9	32.8	2.7	11.0	2.8
	短大・大学	(495) 100.0	86.5	56.0	27.9	26.1	38.2	23.6	17.0	21.8	30.9	7.1	39.4	67.1	13.1	52.3	34.9	61.6	18.4	7.9	50.3	1.2	3.4	2.6

（注）　多答式のため，回答は１００％を上回る。

第３５表　性，学校区分，施設利用の有無別勤労青少年の構成

(%)

区分		総数	利用できなかったものがある（注）																					不明	ない	不明
			計	体育施設											文化施設				その他							
				小計	ボーリング場	卓球場	その他の屋内体育施設	グランド	テニス・バレーコート	その他の屋外体育施設	スキー場	スケート場	ゴルフ場	プール	小計	各種講座塾など	図書館	催物	小計	集会所	ホーム等総合施設	旅行宿泊施設	その他			
総数		(3,021) 100.0	30.6	19.5	2.4	2.8	2.4	1.6	5.0	1.5	6.5	6.9	2.9	4.0	11.1	3.3	6.4	3.7	11.7	3.0	4.5	7.0	0.4	0.8	67.3	2.1
性	男	(1,748) 100.0	29.3	19.1	1.9	2.6	2.7	2.1	4.6	2.1	7.8	5.8	4.3	4.2	8.9	2.7	5.0	3.7	12.3	3.3	5.0	7.0	0.6	0.9	68.7	2.0
	女	(1,267) 100.0	32.5	20.0	3.0	3.2	2.1	0.7	5.5	0.6	4.7	8.2	0.9	3.6	14.1	4.2	8.4	3.6	10.9	2.8	3.7	6.9	0.2	0.6	65.4	2.1
	不明	(6) 100.0	33.3	33.3	—	16.7	—	16.7	—	—	—	33.3	—	—	16.7	—	—	16.7	16.7	—	—	16.7	—	—	66.7	—
学校区分	高校	(2,526) 100.0	29.2	18.9	2.5	2.7	2.0	1.5	4.6	1.5	6.5	7.4	2.9	4.0	10.1	2.9	5.8	3.4	10.8	3.1	3.9	6.8	0.4	0.6	69.1	1.7
	短大・大学	(495) 100.0	38.2	22.4	1.4	3.4	4.6	1.8	7.1	1.6	6.3	4.0	3.0	4.0	16.2	5.7	9.7	5.3	16.2	2.8	7.3	8.1	0.6	1.6	58.2	3.6

（注）　多答式のため回答は，小計を上回る。

第３６表　性，学校区分，施設不利用理由別勤労青少年の構成

(%)

区分		総数	時間的に利用できない	場所が不便	手続きがめんどう	料金が高い	ふんいきが入りにくい	使い方がわからない	休日に利用者が集中する	その他	不明
総数		(926) 100.0	59.8	23.5	12.0	21.6	7.1	11.0	22.1	4.8	4.4
性	男	(513) 100.0	56.9	23.8	14.4	25.1	8.4	11.9	24.4	3.9	4.9
	女	(411) 100.0	63.3	23.1	9.0	17.3	5.6	10.0	19.5	5.8	3.9
	不明	(2) 100.0	100.0	50.0	—	—	—	—	—	—	4.5
学校区分	高校	(737) 100.0	59.2	23.2	11.8	21.8	7.9	10.7	21.6	4.7	4.5
	短大・大学	(189) 100.0	62.4	24.9	12.7	20.6	4.2	12.2	24.3	4.8	4.2

（注）　多答式のため，回答は１００％を上回る。　　利用できなかつた施設のある者＝１００％

第37表　性，学校区分，設置希望施設別勤労青少年の構成

(%)

区分		総数	体育施設											文化施設				その他					何もない	不明
			小計	ボーリング場	卓球場	その他の屋内施設	グランド	テニス・バレーコート	その他の屋外施設	スキー場	スケート場	ゴルフ場	プール	小計	各種学校・塾	図書館	催物	小計	サークル集会所	ホームなど総合施設	旅行宿泊施設	その他		
総数		(3,021) 100.0	49.4	3.3	9.0	14.1	8.3	14.0	7.8	6.3	13.1	2.7	5.9	21.7	4.9	14.8	6.6	20.7	8.1	9.1	5.9	1.5	22.4	9.4
性	男	(1,748) 100.0	48.4	3.4	9.0	16.1	11.2	12.2	9.9	7.8	10.3	4.1	6.2	18.9	3.9	13.6	5.9	21.2	8.5	9.4	6.1	1.9	23.5	9.5
	女	(1,267) 100.0	50.8	3.1	9.2	11.4	4.3	16.6	4.9	4.0	16.9	0.8	5.4	25.7	6.2	16.6	7.7	19.9	7.4	8.7	5.6	0.9	20.8	9.2
	不明	(6) 100.0	50.0	—	—	16.7	16.7	16.7	—	16.7	33.3	—	—	—	—	—	—	16.7	16.7	—	—	—	16.7	16.7
学校区分	高校	(2,526) 100.0	48.1	3.5	8.8	12.8	7.8	13.1	6.9	6.4	13.6	2.7	5.1	20.3	4.7	13.6	6.1	20.2	7.8	8.4	5.7	1.5	24.6	8.4
	短大・大学	(495) 100.0	56.4	2.2	10.3	20.8	16.7	18.8	12.3	5.7	10.5	2.8	9.7	29.1	5.9	21.0	9.1	23.0	9.5	12.9	6.5	1.2	11.1	14.5

(注)　多答式のため，回答は100%を上回る。

付　　表

付表 1.　事業所の産業・時間配慮の有無別勤労青少年数

(%)

区分	総数	時間配慮がされている					されていない	不明
		小計	終業時刻が早い	残業をしない	その他	不明		
総数	(3,021) 100.0	71.9	43.5	23.9	4.0	0.5	27.7	0.4
製造業	(1,176) 100.0	67.4	40.2	24.4	2.5	0.3	32.3	0.3
建設業	(263) 100.0	78.3	55.9	21.3	0.4	0.7	20.5	1.2
卸業・小売業	(284) 100.0	77.5	50.3	25.7	1.1	0.4	22.2	0.3
金融・保険業	(56) 100.0	55.4	30.3	17.9	5.4	1.8	44.6	—
運輸通信業	(90) 100.0	72.2	45.6	22.2	4.4	—	27.8	—
サービス業	(676) 100.0	75.3	44.4	24.4	6.4	0.4	24.6	0.1
その他	(473) 100.0	73.2	41.2	23.3	7.8	0.9	26.2	0.6
不明	(3) 100.0	66.6	—	33.3	33.3	—	33.3	—

(注)　多答式のため「時間配慮がされている」の回答は小計を上回る。

付表2　事業所の産業，短縮時間及び給料への影響別勤労青少年数

(%)

区分	総数	短縮される時間					給料への影響			
		15分未満	15分以上30分未満	30分以上1時時未満	1時間以上	不明	給料を差引かれる	かわりない	早出して補う	不明
総数	(1,316) 100.0	8.1	12.5	46.6	28.4	4.4	22.7	69.4	7.1	0.8
製造業	(473) 100.0	13.1	17.8	46.7	19.7	2.7	28.1	64.1	7.2	0.6
建設業	(147) 100.0	4.8	12.2	48.3	32.0	2.7	15.0	81.0	3.4	0.6
卸売・小売業	(143) 100.0	7.0	4.2	44.0	41.3	3.5	30.8	62.9	5.6	0.7
金融・保険業	(17) 100.0	11.8	29.4	35.3	17.6	5.9	17.6	76.5	—	5.9
運輸・通信業	(41) 100.0	7.3	12.2	46.3	24.4	9.8	26.8	63.4	7.3	2.5
サービス業	(300) 100.0	4.7	9.0	41.0	38.3	7.0	23.3	67.3	8.7	0.7
その業	(195) 100.0	4.6	10.3	56.4	23.6	5.1	7.7	82.1	9.2	1.0

勤務時間が短縮される者＝100%

付表 3.　雇用形態，通勤・通学時間別，週休二日制実施後の通勤状況別勤労青少年の構成

(%)

区分		総数	行きやすい	行きにくい（注）					わからない	不明
				小計	平日の労働時間が長くなった	休日に学校に出るのがおっくう	その他	不明		
総数		(908) 100.0	42.7	37.4	3.3	33.6	0.8	0.2	18.2	1.7
雇用形態	本採用	(842) 100.0	42.1	38.6	3.5	34.6	0.8	0.2	17.6	1.7
	臨時・アルバイトなど	(66) 100.0	50.0	22.7	1.5	21.2	—	—	25.8	1.5
通勤通学時間	1時間未満	(335) 100.0	39.7	38.2	1.8	34.9	1.2	0.3	21.2	0.9
	1時間以上1時間半未満	(279) 100.0	46.3	35.1	3.6	31.2	0.7	—	16.1	2.5
	1時間半以上	(294) 100.0	42.8	38.8	4.8	34.4	0.3	0.3	16.7	1.7

(注)　多答式のため，「行きにくい」の回答は小計を上回る。

週休二日制実施事業所に勤務する青少年＝100%

付表4. 雇用形態，時間配慮の有無，週休二日制実施の有無，欠席回数別勤労青少年の構成

(%)

区分		総数	欠席しない	欠席した 小計	仕事以外	仕事による	不明	不明	1月当り平均欠席日数 欠席日数	仕事による欠席日数
総数		(3,021) 100.0	36.3	63.6	34.1	27.9	1.6	0.1	3.7	2.9
雇用形態	本採用	(2,540) 100.0	36.0	63.9	33.3	29.0	1.6	0.1	3.6	2.9
	臨時・アルバイトなど	(477) 100.0	37.5	62.1	38.2	22.4	1.5	0.4	4.0	2.5
	不明	(4) 100.0	75.0	25.0	25.0	—	—	—	2.0	
週休二日制の実施の有無	実施している	(908) 100.0	36.4	63.6	37.2	24.1	2.3	—	3.8	2.7
	していない	(2,107) 100.	36.3	63.6	32.7	29.6	1.3	0.1	3.6	2.9
	不明	(6) 100.0	50.0	33.4	16.7	16.7	—	16.7	7.0	5.0

付表5.　事業所規模・雇用形態・行事（修学旅行）への参加方法別勤労青少年の構成

(%)

区分		総数	有給休暇をあてる	特別な休暇が与えられる					仕事と重ならないので参加する	仕事にさしつかえるので参加できない	欠勤して参加する	例がないのでわからない	不明
				小計	出勤と同じ扱いになる	給料を引かれたり，代りの出勤をする	精勤手当に影響する	不明					
総数		(3,021) 100.0	31.2	15.5	6.8	3.3	1.8	3.6	2.4	3.0	12.1	28.8	7.0
事業所の規模	30人未満	(1,196) 100.0	14.0	22.1	10.1	4.5	2.5	5.0	4.2	3.8	16.6	29.4	9.9
	30人以上100人未満	(542) 100.0	28.6	15.7	7.4	2.8	2.4	3.1	0.9	3.7	14.6	31.2	5.3
	100人以上1,000人未満	(921) 100.0	46.5	10.2	3.5	3.0	1.1	2.6	1.5	1.6	8.2	28.3	3.7
	1,000人以上	(322) 100.0	54.7	6.8	3.4	0.9	0.6	1.9	0.9	3.4	4.4	23.0	6.8
	不明	(40) 100.0	40.0	7.5	2.5	—	—	5.0	—	—	2.5	30.0	20.0
雇用形態	本採用	(2,540) 100.0	34.4	14.4	6.4	2.9	1.8	3.3	2.3	3.0	11.2	28.3	6.4
	臨時・アルバイトなど	(477) 100.0	14.5	20.8	8.8	5.3	1.7	5.0	2.9	3.1	17.2	31.0	10.5
	不明	(4) 100.0	25.0	50.0	—	25.0	—	25.0	—	—	—	25.0	—

付表6　事業所規模・雇用形態・行事（遠足）への参加方法別勤労青少年の構成

（%）

区分		総数	有給休暇をあてる	特別な休暇が与えられる					仕事と重ならないので参加できる	仕事にさしつかえるので参加できない	欠勤して参加する	例がないのでわからない	不明
				小計	出勤と同じ扱いになる	給料を引かれたり，代りの出勤をする	精勤手当に影響する	不明					
総数		(3,021) 100.0	9.2	7.9	3.2	2.9	0.5	1.3	42.2	5.9	7.6	22.3	4.9
事業所の規模	30人未満	(1,196) 100.0	4.4	11.8	5.4	3.8	0.5	2.1	40.7	6.4	11.1	21.2	4.4
	30人以上100人未満	(542) 100.0	10.3	6.2	2.0	2.8	0.5	0.9	41.9	7.4	7.6	21.8	4.8
	100人以上1,000人未満	(921) 100.0	13.3	5.1	1.0	2.8	0.4	0.9	44.5	5.0	5.1	22.7	4.3
	1,000人以上	(322) 100.0	14.0	5.3	3.7	0.3	0.3	1.0	43.2	4.7	1.8	24.5	6.5
	不明	(40) 100.0	7.5	2.5	2.5	－	－	－	32.5	－	2.5	32.5	22.5
雇用形態	本採用	(2,540) 100.0	10.1	7.4	3.0	2.8	0.5	1.1	42.8	6.0	6.8	22.6	4.3
	臨時・アルバイトなど	(477) 100.0	4.6	11.1	4.4	3.4	0.4	2.9	38.8	5.0	11.5	20.8	8.2
	不明	(4) 100.0	25.0	－	－	－	－	－	75.0	－	－	－	－

付表7　事業所規模・雇用形態・行事（運動会）への参加方法別勤労青少年の構成

（%）

区分		計	有給休暇をあてる	特別な休暇が与えられる					仕事と重ならないので参加できる	仕事にさしつかえるので参加できない	欠勤して参加する	例がないのでわからない	不明
				小計	出勤と同じ扱いになる	給料を引かれたり，代りの出勤をする	精勤手当に影響する	不明					
計		(3,021) 100.0	6.0	6.2	2.3	2.5	0.4	1.0	57.0	5.2	5.6	15.5	4.5
事業所の規模	30人未満	(1,196) 100.0	2.8	9.5	4.2	3.0	0.5	1.8	53.3	5.9	9.1	15.7	3.7
	30人以上100人未満	(542) 100.0	7.0	5.4	1.3	3.0	0.4	0.7	56.8	5.5	4.1	16.4	4.8
	100人以上1,000人未満	(921) 100.0	8.6	4.0	0.7	2.6	0.4	0.3	60.3	4.3	3.4	15.2	4.2
	1,000人以上	(322) 100.0	9.0	2.5	1.9	0.3	−	0.3	63.7	5.0	1.2	12.4	6.2
	不明	(40) 100.0	5.0	−	−	−	−	−	42.5	2.5	5.0	27.5	17.5
雇用形態	本採用	(2,540) 100.0	6.4	5.7	2.2	2.4	0.4	0.7	58.9	5.4	4.8	14.9	3.9
	臨時・アルバイトなど	(477) 100.0	3.6	9.0	2.9	3.4	0.4	2.3	47.2	4.2	9.9	18.6	7.5
	不明	(4) 100.0	25.0	−	−	−	−	−	75.0	−	−	−	−

付表8. 事業所規模・雇用形態・行事（文化祭）への参加方法別勤労青少年の構成

(%)

区分		総数	有給休暇をあてる	特別な休暇が与えられる					仕事と重ならないので参加できる	仕事にさしつかえるので参加できない	欠勤して参加する	例がないのでわからない	不明
				小計	出勤と同じ扱いになる	給料を引かれたり，代りの出勤をする	精勤手当に影響する	不明					
総数		(3,021) 100.0	7.4	6.1	2.7	2.1	0.3	1.0	59.6	6.9	6.6	9.9	3.5
事業所の規模	30人未満	(1,196) 100.0	3.8	9.0	4.4	2.3	0.5	1.8	56.3	6.8	9.4	12.0	2.7
	30人以上100人未満	(542) 100.0	6.1	4.8	1.9	2.2	—	0.7	60.9	7.4	7.0	10.1	3.7
	100人以上1,000人未満	(921) 100.0	10.9	4.0	1.0	2.6	0.1	0.3	64.1	6.5	3.6	7.8	3.1
	1,000人以上	(322) 100.0	12.7	3.7	2.8	0.3	0.3	0.3	58.7	7.8	4.7	8.1	4.3
	不明	(40) 100.0	10.0	—	—	—	—	—	47.5	5.0	2.5	7.5	27.5
雇用形態	本採用	(2,540) 100.0	8.0	5.7	2.5	2.1	0.3	0.8	60.5	7.1	5.6	9.8	3.3
	臨時・アルバイトなど	(477) 100.0	3.8	8.2	3.6	2.1	0.4	2.1	54.7	5.9	11.9	10.7	4.8
	不明	(4) 100.0	25.0	—	—	—	—	—	75.0	—	—	—	—

付表9. 事業所規模・雇用形態・行事（試験・考査）への参加方法別勤労青少年の構成

(%)

区分		総数	有給休暇をあてる	特別な休暇が与えられる					仕事と重ならないので参加できる	仕事にさしつかえるので参加できない	欠勤して参加する	例がないのでわからない	不明
				小計	出勤と同じ扱いになる	給料を引かれたり，代りの出勤をする	精勤手当に影響する	不明					
総数		(3,021) 100.0	8.1	5.8	2.7	1.3	0.3	1.5	61.1	2.1	5.8	12.4	4.7
事業所の規模	30人未満	(1,196) 100.0	3.5	8.0	3.9	1.3	0.5	2.3	61.5	2.6	7.6	12.1	4.7
	30人以上100人未満	(542) 100.0	7.4	4.8	1.8	1.5	0.2	1.3	60.0	1.3	7.2	14.2	5.1
	100人以上1,000人未満	(921) 100.0	11.7	4.7	2.1	1.6	0.1	0.9	61.8	1.8	3.8	12.2	4.0
	1,000人以上	(322) 100.0	14.9	2.8	1.9	0.3	—	0.6	60.6	3.1	3.4	11.5	3.7
	不明	(40) 100.0	15.0	5.0	2.5	—	—	2.5	50.0	—	—	100.	20.0
雇用形態	本採用	(2,540) 100.0	9.1	4.9	2.2	1.2	0.2	1.3	62.2	2.1	5.1	12.8	3.8
	臨時・アルバイトなど	(477) 100.0	2.7	10.7	5.5	1.7	0.6	2.9	54.7	2.3	9.9	10.5	9.2
	不明	(4) 100.0	25.0	—	—	—	—	—	75.0	—	—	—	—

付表10　事業所規模・雇用形態・行事（実習）への参加方法別勤労青少年の構成

（%）

区分		総数	有給休暇をあてる	特別な休暇が与えられる					仕事と重ならないので参加できる	仕事にさしつかえるので参加できない	欠勤して参加する	例がないからわからない	不明
				小計	出勤と同じ扱いになる	給料を引かれたり，代りの出勤をする	精勤手当に影響する	不明					
総数		(3,021) 100.0	6.4	4.0	1.8	0.9	0.3	1.0	23.4	1.9	5.3	49.3	9.7
事業所の規模	30人未満	(1,196) 100.0	2.6	5.1	2.4	1.1	0.3	1.3	23.7	2.3	6.9	49.9	9.5
	30人以上100人未満	(542) 100.0	7.2	4.4	2.4	0.9	0.4	0.7	24.0	2.1	5.7	47.4	9.2
	100人以上1,000人未満	(921) 100.0	8.6	3.4	1.2	1.0	0.3	0.9	23.7	1.4	3.8	50.5	9.1
	1,000人以上	(322) 100.0	12.4	1.5	0.9	0.3	—	0.3	21.7	1.9	3.4	48.5	10.6
	不明	(40) 100.0	7.5	2.5	—	—	—	2.5	15.0	—	—	45.0	30.0
雇用形態	本採用	(2,540) 100.0	7.2	3.6	1.7	0.9	0.2	0.8	23.4	1.9	4.4	50.8	8.7
	臨時・アルバイトなど	(477) 100.0	1.9	6.3	2.9	1.1	0.4	1.9	23.5	2.3	9.6	41.3	15.1
	不明	(4) 100.0	—	—	—	—	—	—	25.0	—	—	50.0	25.0

付表 11. 職種，学校卒業資格の取扱別勤労青少年の構成

(%)

区分	総数	卒業資格が生かされる(注)						生かされない	不明
		小計	全日制卒業者と同じ待遇になる	学んだことを生かした仕事につける	昇進・昇格のための受験資格が得られる	その他	不明		
総数	(3,021) 100.0	42.9	14.7	13.3	12.4	2.9	1.0	56.1	1.0
事務	(548) 100.0	39.8	15.5	13.7	7.5	3.3	0.7	58.6	1.6
販売員	(196) 100.0	42.4	11.7	22.4	4.6	2.6	1.0	57.1	0.5
運輸・通信	(145) 100.0	37.9	17.9	11.0	6.2	3.4	0.7	60.7	1.4
工場の現業	(1,184) 100.0	36.8	16.5	10.2	8.2	2.4	1.3	62.8	0.4
サービス職業	(269) 100.0	41.2	13.4	12.3	18.6	3.7	−	51.3	1.5
その他	(677) 100.0	55.7	11.5	16.8	24.5	3.2	1.0	43.0	1.3
不明	(2) 100.0	50.0	−	−	50.0	−	−	50.0	−

(注) 多答式のため「生かされる」の内訳は小計を上回る。

付表12　事業所の規模・職種・雇用形態・勤務継続の意思別勤労青少年の構成

(%)

区分		総数	続ける				やめる							わからない	不明
			小計	今の仕事を続けたい	資格を生かし別の仕事にかわりたい	不明	小計	同じ仕事だが別の会社に変りたい	別の会社で別の仕事につきたい	独立して仕事をする	家の仕事をする	その他	不明		
総数		(3,021) 100.0	24.0	20.4	3.2	0.4	44.0	4.8	23.6	4.1	1.4	9.2	0.9	31.8	0.2
事業所の規模	30人未満	(1,196) 100.0	24.4	22.2	2.0	0.2	44.7	5.5	22.5	5.0	1.4	9.9	0.4	30.7	0.2
	30人以上100人未満	(542) 100.0	20.5	17.2	3.1	0.2	46.5	5.9	25.3	3.9	1.6	8.9	0.9	33.0	—
	100人以上1,000人未満	(921) 100.0	22.9	18.7	3.3	0.9	43.3	4.1	23.8	3.4	1.5	9.3	1.2	33.7	0.1
	1,000人以上	(322) 100.0	31.1	23.0	7.5	0.6	40.0	3.1	25.2	3.1	0.9	6.5	1.2	28.9	—
	不明	(40) 100.0	30.0	30.0	—	—	40.0		17.5	7.5	—	12.5	2.5	25.0	5.0
職種	事務	(548) 100.0	29.2	23.9	4.6	0.7	42.0	2.2	21.5	2.9	1.1	12.6	1.7	28.4	0.4
	販売員	(196) 100.0	15.8	13.8	2.0	—	46.4	3.1	29.6	5.1	0.5	8.1	—	37.8	—
	運輸・通信	(145) 100.0	20.7	15.2	5.5	—	53.1	0.7	39.3	4.1	2.8	6.2	—	26.2	—
	工場の現業	(1,184) 100.0	19.6	16.0	3.1	0.5	47.1	3.4	31.3	3.8	1.9	5.6	1.1	33.3	—
	サービス職業	(269) 100.0	24.9	21.6	2.6	0.7	44.2	10.0	14.5	7.	1.5	10.8	—	30.9	—
	その他	(677) 100.0	30.3	27.8	2.2	0.3	37.5	8.9	10.2	3.8	0.9	13.1	0.6	31.8	0.4
	不明	(2) 100.0	50.0	50.0	—	—	50.0	—	50.0	—	—	—	—	—	—
雇用形態	本採用	(2,540) 100.0	26.8	22.7	3.6	0.5	40.3	5.2	21.4	3.8	1.5	7.7	0.7	32.8	0.1
	臨時・アルバイトなど	(477) 100.0	9.4	8.4	1.0	—	63.8	2.7	35.2	6.1	0.9	17.4	1.5	26.4	0.4
	不明	(4) 100.0	—	—	—	—	50.0	—	25.0	—	25.0	—	—	50.0	—

付表13　平日の余暇時間・平日の余暇活動別勤労青少年数

(%)

区分		総数	家事	休養	趣味・文化活動	学校の予習・復習	学校以外の勉強・読書など	娯楽	スポーツ	映画・演劇音楽・スポーツの観覧	友人と雑談	デート	ショッピング	旅行・ハイキング・ドライブ	帰省	家族団らん	その他	不明
総数		(3,021) 100.0	17.3	55.1	29.2	20.0	34.9	7.6	7.7	14.5	46.7	2.1	5.7	1.1	1.9	15.1	5.2	1.8
平日の余暇時間	3時間未満	(2,128) 100.0	17.1	55.2	28.2	18.8	34.3	7.3	8.2	13.9	41.0	2.1	5.6	1.2	1.9	16.0	4.7	1.7
	3時間以上6時間未満	(802) 100.0	18.2	55.9	31.4	22.6	36.3	8.5	6.0	16.3	49.4	1.9	5.4	1.0	1.7	13.3	6.9	0.6
	6時間以上	(61) 100.0	21.3	50.8	34.4	31.1	41.0	8.2	9.8	13.1	45.9	3.3	11.5	—	3.3	8.2	6.6	1.6
	不明	(30) 100.0	6.7	33.3	23.3	10.0	20.0	—	10.0	6.7	26.7	—	10.0	3.3	3.3	10.0	—	40.0

(注)　多答式のため回答は，100%を上回る

代表１４　週休二日制の実施状況・学校と職場の休日の一致状況・休日の余暇時間・休日の余暇活動別勤労青少年の構成

（%）

区分		総数	家事	休養	趣味・文化活動	学校の予習・復習	学校以外の勉強・読書	娯楽	スポーツ	映画・演劇音楽・スポーツ等の観覧	友人と雑談	デート	ショッピング	旅行・ハイキング・ドライブ	帰省	家族団らん	その他	不明
総数		(3021) 100.0	19.1	43.6	18.7	5.8	13.3	17.1	12.1	35.0	24.5	19.2	39.0	20.5	13.2	8.7	2.6	0.6
週休二日制	実施している	(908) 100.0	18.7	42.6	20.2	5.4	12.2	17.0	12.7	32.7	23.8	19.3	40.2	19.8	13.3	8.0	2.5	1.1
	実施していない	(2107) 100.0	19.2	44.0	18.0	6.0	13.7	17.2	11.9	35.9	24.9	19.2	38.5	20.8	13.1	9.0	2.7	0.4
	不明	(6) 100.0	33.3	33.3	33.3	—	33.3	16.7	33.3	33.3	—	16.7	16.7	16.7	16.7	—	—	—
休日の一致状況	大体同じ	(2101) 100.0	19.5	44.1	18.8	6.1	13.3	17.4	12.7	34.9	25.0	18.5	39.3	19.7	11.7	9.3	2.4	0.4
	ちがう	(546) 100.0	19.0	42.9	19.0	5.7	12.8	16.1	11.4	37.4	23.4	20.1	36.6	22.0	15.0	6.6	4.0	0.9
	きまっていない	(369) 100.0	16.8	42.0	17.1	3.8	13.6	16.8	10.3	31.4	23.6	22.2	41.2	22.8	19.0	7.9	1.9	0.8
	不明	(5) 100.0	—	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	—	40.0	—	—	—	20.0	—	20.0	—	40.0
休日の余暇時間	5時間未満	(115) 100.0	29.6	40.9	23.5	6.1	20.0	13.0	18.3	24.3	24.3	14.8	24.3	16.5	11.3	13.9	1.7	2.6
	5時間以上10時間未満	(750) 100.0	24.4	42.0	22.1	7.2	14.9	14.1	12.9	33.2	23.2	17.1	42.1	17.1	10.1	8.4	2.7	0.3
	10時間以上	(2119) 100.0	16.5	44.6	17.3	5.2	12.3	18.5	11.6	36.3	25.2	20.3	38.7	22.1	14.3	8.5	2.6	0.2
	不明	(37) 100.0	27.0	24.3	13.5	8.1	13.5	8.1	8.1	27.0	13.5	16.2	35.1	8.1	18.9	5.4	2.7	24.3

（注）多答式のため回答は，１００%を上回る。

付表15　居住状態・平日の余暇時間・平日の余暇をすごした場所別勤労青少年の構成

(%)

区分		総数	自宅	学校	職場	公共の文化施設	公共の体育施設	商業娯楽施設	各種学校塾など	公園など	喫茶店・レストランなど	デパート・商店街など	友人の家	その他	不明
総数		(3,021) 100.0	65.5	23.3	34.3	1.2	1.2	3.4	1.4	2.9	15.4	5.2	11.8	9.2	1.8
居住状態	親といっしょ	(1,256) 100.0	77.7	23.8	34.6	1.2	1.4	3.9	1.5	2.1	16.3	4.7	13.2	1.4	2.0
	住込・寄宿舎・寮など	(1,214) 100.0	48.4	19.9	38.0	1.2	1.0	2.4	1.6	3.5	12.7	6.1	9.2	19.5	1.6
	下宿・アパートなど	(512) 100.0	75.8	23.6	24.6	1.4	1.4	4.5	0.8	3.9	19.1	3.9	15.0	4.3	1.6
	その他	(39) 100.0	71.8	12.8	38.5	−	−	2.6	−	2.6	23.1	7.7	5.1	5.1	2.6
平日の余暇時間	3時間未満	(2,128) 100.0	64.8	23.0	35.1	1.3	1.1	3.1	1.3	2.9	14.3	4.5	10.7	9.0	1.8
	3時間以上6時間未満	(802) 100.0	70.0	23.4	31.8	1.1	1.2	4.2	2.0	2.0	18.0	5.6	15.1	10.0	0.5
	6時間以上	(61) 100.0	55.7	29.5	44.3	−	6.6	3.3	−	14.8	24.6	13.0	9.8	9.8	3.3
	不明	(30) 100.0	20.0	26.7	30.0	−	−	3.3	−	6.7	10.0	13.3	6.7	3.3	33.3

(注)　多答式のため回答は，100%を上回る。

付表１６　週休二日制の実施状況・休日の一致状況・休日の余暇時間・休日の余暇をすごした場所別勤労青少年の構成

(%)

区分		総数	自宅	学校	職場	公共の文化施設	公共の体育施設	商業娯楽施設	各種学校塾など	公園など	喫茶店・レストランなど	デパート・商店街など	友人の家	その他	不明
総数		(3,021) 100.0	67.1	5.4	5.8	5.4	5.7	17.4	1.5	18.7	39.7	49.4	38.7	9.9	0.7
週休二日制	実施している	(908) 100.0	65.5	4.8	5.4	7.3	6.2	15.6	1.8	21.0	39.6	50.3	35.2	11.2	1.1
	実施していない	(2,107) 100.0	67.7	5.6	6.0	4.6	5.5	18.1	1.4	17.6	39.6	49.1	40.2	9.3	0.6
	不明	(6) 100.0	83.3	33.3	16.7	−	16.7	16.7	−	33.3	50.0	33.3	33.3	−	−
休日の一致状況	大体同じ	(2,101) 100.0	69.3	5.9	5.8	5.9	6.9	18.4	1.7	18.8	39.6	49.0	39.0	9.1	0.6
	ちがう	(546) 100.0	61.5	3.1	6.0	4.8	2.7	16.3	1.3	19.4	41.6	50.0	39.0	11.7	0.7
	きまっていない	(369) 100.0	63.1	6.0	5.7	3.8	3.5	13.3	1.1	17.3	37.4	51.5	36.9	11.7	0.8
	不明	(5) 100.0	40.0	20.0	−	−	−	20.0	−	−	40.0	−	20.0	−	40.0
休日の余暇時間	5時間未満	(115) 100.0	59.1	7.0	7.0	7.8	5.2	11.3	0.9	17.4	30.4	33.9	39.1	11.3	3.5
	5時間以上10時間未満	(750) 100.0	69.1	5.1	5.6	6.1	5.7	17.5	2.1	17.9	37.5	51.2	35.7	7.3	0.1
	10時間以上	(2,119) 100.0	67.1	5.5	5.9	5.1	5.8	17.9	1.4	19.1	41.1	50.0	40.0	10.8	0.3
	不明	(37) 100.0	48.6	5.4	27.	−	2.7	2.7	−	13.5	32.4	29.7	21.6	5.4	27.0

(%)　多答式のため回答は，100%を上回る。

付表１７　週休二日制の実施状況・休日の一致状況・休日の余暇時間・週休二日制実施後の余暇活動希望状況別勤労青少年の構成

(%)

区分		総数	家事	休養	趣味・文化活動	学校の予習・復習	学校以外の勉強・読書など	娯楽	スポーツ	映画・演劇音楽・スポーツ等の観覧	友人と雑談	デート	ショッピング	旅行・ハイキング・ドライブ	帰省	家族団らん	その他	不明
総数		(2,832) 100.0	7.7	32.2	24.8	9.4	17.4	10.1	20.7	31.7	12.5	15.8	17.7	44.4	12.4	5.9	1.4	9.5
週休二日制	月1回隔週	(719) 100.0	5.2	21.4	21.6	6.4	13.1	9.2	17.7	25.5	8.9	12.9	14.6	28.7	9.0	3.8	0.7	31.3
	なし	(2,107) 100.0	8.6	35.9	25.9	10.5	18.9	10.4	21.6	33.8	13.7	16.8	18.7	49.8	13.5	6.6	1.6	2.0
	不明	(6) 100.0	−	16.7	16.7	−	16.7	−	33.3	33.3		16.7	33.3	50.0	33.3	−	−	16.7
休日の一致状況	大体同じ	(1,962) 100.0	7.9	32.7	24.9	10.4	19.1	10.3	21.3	31.7	12.8	14.3	16.9	43.4	11.6	6.0	1.4	9.5
	ちがう	(510) 100.0	6.5	29.2	24.3	6.9	12.6	9.6	20.8	34.9	11.4	18.2	19.0	48.6	13.5	5.3	1.6	9.0
	きまっていない	(355) 100.0	8.5	33.8	24.2	7.3	14.9	9.6	16.9	27.3	12.4	20.6	20.0	43.9	15.5	6.2	1.1	9.6
	不明	(5) 100.0	20.0	20.0	40.0	40.0	20.0	−	20.0	−	−	−	−	40.0	−	−	−	40.0
休日の余暇時間	5時間未満	(111) 100.0	9.0	28.8	23.4	12.6	23.4	7.2	19.8	30.6	9.0	15.3	18.9	33.3	12.6	13.5	2.7	11.7
	5時間以上10時間未満	(710) 100.0	9.2	33.7	28.6	10.4	17.5	7.2	20.9	31.6	13.8	14.2	18.0	44.4	11.7	6.5	1.4	8.6
	10時間以上	(1,976) 100.0	7.0	32.0	23.6	8.7	17.1	11.2	20.7	31.8	12.3	16.4	17.5	45.3	12.8	5.3	1.3	9.4
	不明	(35) 100.0	14.3	22.9	17.1	20.0	14.3	11.4	17.1	28.6	8.6	14.3	14.3	28.6	8.6	2.9	2.9	25.7

(注)　多答式のため回答は，１００％を上回る。

参　　考

（参考）

夜間に就学する勤労青少年の生活と意識に関する調査票

（４９年１１月）

㊙

労働省婦人少年局

婦人少年室名	※	婦人少年室整理番号	※	学校の種別	※

○記入上の注意：特にことわりのない場合には、あてはまるもの「一つだけ」に○をつけ「かっこ」や「わく」の中には答えを書き入れてください。※印は記入しないでください。

Ⅰ　はじめにあなたのことをおたずねします。

問1.　あなた自身のことについて

性別	年令	すまい
1. 男 2. 女	満 （　　）才	1. 親といっしょ 2. 住込寄宿舎・寮 3. 親元をはなれて下宿・アパートなど 4. その他（　　）

問2.　学校のことについて

学年		課程・学部・学科
高校	（　）年	1.普通　2.工業　3.商業
大学 短大	（　）年	1.文学関係　2.法律・経済・政治・商業関係　3.理工関係　4.教育関係 5.その他

問3.　しごとについて

(1)　勤め先（事業所）の産業は？（工場、お店、支社などの単位で）

1. 製造業（食品、衣類、木工、金属工業、機械、印刷など）
2. 建設業　3. 卸売・小売業
4. 金融・保険業　5. 運輸・通信業
6. サービス業　7. その他（　　）

(2)　勤め先（事業所）に働いている人の数は？（工場、お店、支社などの単位で）

約（　　）人

(3)　あなたがしている仕事は？

1. 事務（レジ、キーパンチャーなどを含む）
2. 販売員
3. 運輸通信（運転手、配達、交換手など）
4. 工場の現業（製造、修理、印刷、縫製など）
5. サービス職業（理・美容、クリーニング、料理人、給仕人など）
6. その他（　　）

(4)　雇用の形態は？

1. 本採用（試用期間を含む）
2. 臨時、アルバイトなど

Ⅱ　学校としごととの両立についてうかがいます。

問4.　１０月で学校と仕事の両方ある日の生活時間をお答え下さい。

(1)　すいみん時間は？

時　分 ［　｜　］ ころから　時　分 ［　｜　］ ころまで

(2)　職場にいる時間は？

時　分 ［　｜　］ ころから　時　分 ［　｜　］ ころまで

(3)　学校にいる時間は（課外活動を除く）？

時　分 ［　｜　］ ころから　時　分 ［　｜　］ ころまで

(4)　家を出てから帰るまでの時間は？

時　分 ［　｜　］ ころから　時　分 ［　｜　］ ころまで

問5.　どこへも寄り道をしない場合、通勤・通学にどのくらい時間がかかりますか。

(1)　家から職場までは？

およそ（　　）時間（　　）分くらい

(2)　職場から学校までは？

およそ（　　）時間（　　）分くらい

(3)　学校から家までは？

およそ（　　）時間（　　）分くらい

問6.　学校には給食がありますか。

1. ある　2. ない

問7.　給食以外に夕食をとりますか。

1. とる → 何時ころですか？
   1. 大体（　　）時ころ
   2. 不規則で何ともいえない
2. とらない

問8.　職場では夜間学生に対して時間配慮がされていますか。

1. いる → どんなことですか？
   1. 終業時刻が早い　約（　　）分 → その分の給料は？
      1. 差引かれる
      2. かわりない
      3. 早出して補う
   2. 残業をしない
   3. その他（　　）
2. いない

問9. あなたの職場では週休2日制が実施されていますか。

1. いる
2. いない

→ 毎週ですか？

1. 毎週
2. 月1回又は1週おき
3. その他（　　）

（実施されていると答えた方にうかがいます）

週休2日制になったほうが学校に行きやすいですか？

1. 行きやすい
2. 行きにくい
3. わからない

→ なぜですか？あてはまる理由全部に○印をつけて下さい。

1. 週休2日制になって平日の労働時間が長くなったから
2. 職場の休日には学校に出るのがおっくうになるから
3. その他（　　）

問10. 次のような場合にはどうしていますか。下の答えの中からあてはまるものの記号を（　）の中に記入して下さい。

1. 修学旅行（　　）	2. 遠足（　　）
3. 運動会（　　）	4. 文化祭（　　）
5. 試験考査（　　）	6. 実習（　　）

イ　有給休暇をあてる
ロ　特別な休暇が与えられる
　ロ－1　出勤と同じ扱いになる
　ロ－2　給料を引かれたり、代りの出勤をする
　ロ－3　精勤手当に影響する
ハ　仕事と重ならないので参加できる
ニ　仕事にさしつかえるので参加できない
ホ　欠勤して参加する
ヘ　例がないのでわからない

問11. 10月に学校を休んだことは何回くらいありましたか。

(1) 欠席は？

1. ある
2. ない

→ （　　）回くらい → そのうち仕事の都合によるものは？

（　　）回くらい

問12. これまでに仕事の都合で進級できなかったことはありますか。

1. ある　　2. ない

問13. 学校の都合、又は学校にゆくために転職したことがありますか。

1. ある　　2. ない

問14. 今の状態でゆくと学校を続けられそうですか。

1. 続けられそう
2. 迷っている
3. わからない

→ なぜですか？あてはまるもの全部に○印をつけて下さい

1. 仕事が忙しい・職場に気がね
2. 疲れる
3. 勉強がむずかしい
4. 学校に行っても役にたたない
5. 経済的に困難である
6. その他（　　）

問15. 学校を出たら、今の職場でその資格が生かされますか。

1. 生かされる
2. 生かされない

→ どのようになりますか？

1. 全日制卒業者と同じ待遇になる
2. 学んだことを生かした仕事につける
3. 昇進・昇格のための受験資格が得られる
4. その他（　　）

問16. 卒業後も今の職場で働くつもりですか。

1. 続ける
2. やめる
3. わからない

→ 1. 今の仕事を続けたい
　2. 資格を生かし、別の仕事に変わりたい

→ 1. 同じ仕事だが別の会社に変わりたい
　2. 別の会社で、別の仕事につきたい
　3. 独立して仕事をする
　4. 家の仕事をする
　5. その他（　　）

問17.（高校生の方のみにうかがいます）

卒業後は大学などでもっと勉強したいですか。

1. したい
2. したくない

→ どこでですか？

1. 昼間の大学
2. 夜間大学
3. 通信教育
4. 各種学校
5. その他（　　）

Ⅲ 余暇時間とその使い方についてうかがいます。

問18. 職場の休日と学校の休日は同じですか。

1. 大体同じ	2. ちがう	3. きまっていない

問19. 1日に余暇時間（自由に使える時間）はどのくらいありますか。10月の例でお答え下さい。

(1) 平日（学校と仕事のある日）の場合は？

およそ（　　）時間（　　）分くらい

(2) 休日（学校も仕事もない日）の場合は？

およそ（　　）時間（　　）分くらい

問20. 問19の余暇時間は何をしていますか。一ばん最近の平日と休日にしたことを下の回答らんの中から3つ程度選んで下さい。

(1) 平日 → | | | |

(2) 休日 → | | | |

1. 家事	9. 友人と雑談
2. 休養	10. デート
3. 趣味、文化活動	11. ショッピング
4. 学校の予習・復習	12. 旅行、ハイキング ドライブ
5. 学校以外の勉強・読書など	13. 帰省
6. 娯楽（パチンコ、マージャンなど）	14. 家族団らん
7. スポーツ	15. その他（　　）
8. 映画、演劇、音楽、スポーツ等の観覧	

問21. 問20の余暇時間はどこですごしましたか。一ばん最近の平日と休日に分けて、あてはまるもの全部をあげて下さい。

(1) 平日 → | |

(2) 休日 → | |

1. 自宅	7. 各種学校、塾など
2. 学校	8. 公園など
3. 職場	9. 喫茶店、レストランなど
4. 公共の文化施設	10. デパート、商店街など
5. 公共の体育施設	11. 友人の家
6. 商業娯楽施設	12. その他（　　）

問22.（週休2日制が毎週実施されていない事業所の方にうかがいます）

週休2日制が広まったら、休日には何をしたいですか？問20の表の中から3つまで選んで番号を記入して下さい。

問23. この1年間に余暇時間に次の施設を利用したことがありますか。利用したもの全部に○をつけて下さい。

（体育施設）	（文化施設）
1. ボーリング場	11. 各種講座、塾など
2. 卓球場	12. 図書館
3. その他の屋内体育施設	13. 美術館、公民館などの催場
4. グランド	（その他）
5. テニス、バレーなどのコート	14. サークルの集会所
6. その他の屋外体育施設	15. 勤労青少年ホームなどの総合施設
7. スキー場	16. 旅行宿泊施設
8. スケート場	17. その他（　　）
9. ゴルフ場	18. 何もない
10. プール	

問24. 問23の施設の中で、利用したかったができなかったものがありますか。

1. ある → それは何ですか（問23の表の番号でお答え下さい）
2. ない

それはなぜですか？

1. 時間的に利用できない	4. 料金が高い
2. 場所が不便	5. ふんいきが入りにくい
3. 手続きがめんどう	6. 使い方がわからない
7. 休日に利用が集中する	8. その他（　　）

問25. 余暇を有効にすごすため、身近にほしい施設がありますか。問23の番号でお答え下さい。

どうもありがとうございました。これで全部終りましたが、書きおとし書きあやまりがないか、もう一度目を通して下さい。

GAa1／1

8B－2－75

館内

女性と仕事の未来館

0076529 1